# インターネット接続編

・PCML-560EL
・USB-DM560
・USB-PM560

94983-01

# 本書の見方

*インストール編*

**別冊の**
**【*インストール編*】**

**まず別冊の【インストール編】にて本製品の設定を終了しておいてください。**

## *本書*

以下のお使いのOSの個所をお読みください。


| | |
|---|---|
| Windows 2000 → | *【1 Windows 2000でのインターネット】*(1～24ページ) |
| Windows Me → | *【2 Windows Meでのインターネット】*(25～42ページ) |
| Windows 98/95 → | *【3 Windows 98/95でのインターネット】*(43～60ページ) |
| Windows NT 4.0 → | *【4 Windows NT 4.0でのインターネット】*(61～75ページ) |
| Windows CE → | *【5 Windows CEでのインターネット】*(77～85ページ) |
| Mac OS → | *【6 Mac OSでのインターネット】*(87～107ページ) |
| 漢字 Talk → | *【7 漢字Talkでのインターネット】*(109～122ページ) |

インターネット接続編
2001.Aug.01　94983-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

# もくじ

もくじ ····· i

## 1 Windows 2000 でのインターネット

Windows 2000 でインターネットに接続するには ····· 2
*ステップ1* 接続前の準備 ····· 3
*ステップ2* 接続に必要なソフトウェア ····· 4
*ステップ3* インターネットを楽しもう ····· 18

## 2 Windows Me でのインターネット

Windows Me でインターネットに接続するには ····· 26
*ステップ1* 接続前の準備 ····· 27
*ステップ2* 接続に必要なソフトウェア ····· 28
*ステップ3* インターネットを楽しもう ····· 38

## 3 Windows 98/95 でのインターネット

Windows 98/95 でインターネットに接続するには ···· 44
*ステップ1* 接続前の準備 ····· 45
*ステップ2* 接続に必要なソフトウェア ····· 46
*ステップ3* インターネットを楽しもう ····· 56

## 4 Windows NT 4.0 でのインターネット

Windows NT 4.0 でインターネットに接続するには ····62
ステップ1　接続前の準備 ····63
ステップ2　接続に必要なソフトウェア ····64
ステップ3　インターネットを楽しもう ····73

## 5 Windows CE でのインターネット

Windows CE でインターネットに接続するには ····78
ステップ1　接続前の準備 ····79
ステップ2　接続に必要なソフトウェア ····80
ステップ3　インターネットを楽しもう ····83

## 6 Mac OS でのインターネット

Mac OS でインターネットに接続するには ····· 88
ステップ1　接続前の準備 ····89
ステップ2　接続するための手順 ····90
[インターネット接続アシスタント]での接続 ····92
[PPP ダイアラ]での接続 ····· 100

## 7 漢字 Talk でのインターネット

漢字 Talk でインターネットに接続するには ……110
ステップ1 接続前の準備…… 111
ステップ2 接続するための手順…… 112
[ConfigPPP]での接続…… 113
[FreePPP]での接続 …… 117

## 付録1 困ったときには ……. 123

困ったときには(もくじ)…… 123
インターネット接続時のトラブル(Windows 編)・ 125
インターネット接続時のトラブル(Macintosh 編)134
その他のトラブル …… 139

## 付録2 接続速度を変更する‥ 140

## 付録3 ATコマンドによる通信動作の確認 (Windows での手順) ・ 147

MEMO

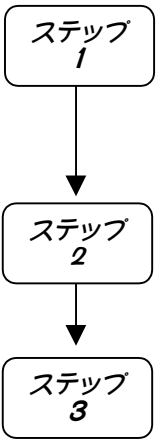
# 1 Windows 2000 でのインターネット

Windows 2000 でインターネットに
接続するには ···· 2ページ
*ステップ1* 接続前の準備 ····· 3ページ
*ステップ2* 接続に必要なソフトウェア ···· 4ページ
*ステップ3* インターネットを楽しもう ····· 18ページ

インターネット接続編

# *Windows 2000 で インターネットに接続するには*

別冊【***インストール編***】の設定をすべて終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。




***接続前の準備*** ····· *3ページ*
インターネットに接続する上で必要な
確認事項について説明します。
・プロバイダとの契約
・パソコン、本製品、電話回線の準備

***接続に必要なソフトウェア*** ····· *4ページ*
インターネットに接続するために必要な
ソフトウェアについて説明します。
・ダイヤルアップ接続

***インターネットを楽しもう*** ····· *18ページ*
【ステップ2】で設定した［ダイヤル
アップ接続］で実際にインターネットに
接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】18 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2：パソコン、本製品、電話回線の準備

パソコン、本製品、電話回線（モジュラージャック）があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック：電話回線と本製品の接続

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下のソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

## ①本製品のドライバソフトウェア

本製品を使用できるようにするために必要なソフトウェアです。
別冊【インストール編】を参照し、インストールを行ってください。
また、正常にインストールされているかも別冊【インストール編】を参照し、確認してください。

## ②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

次ページ以降で説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

## ③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows 2000 には、Web ブラウザとして InternetExplorer が標準でインストールされています。

次ページ以降で[ダイヤルアップ接続]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

# [ダイヤルアップ接続]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア［ダイヤルアップ接続］を設定する必要があります。
はじめて［ダイヤルアップ接続］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、以下の【新しい設定を作るとき】を行います。

**参考1**

**ダイヤルアップとは**
**→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。**

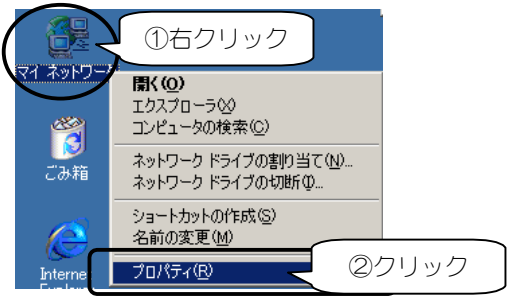
**参考2**

**すでにダイヤルアップ接続（インターネット）の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 14 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。**

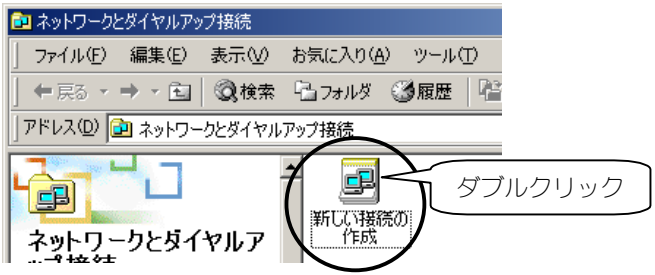
## 新しい設定を作るとき

**1** インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

**2** [マイネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



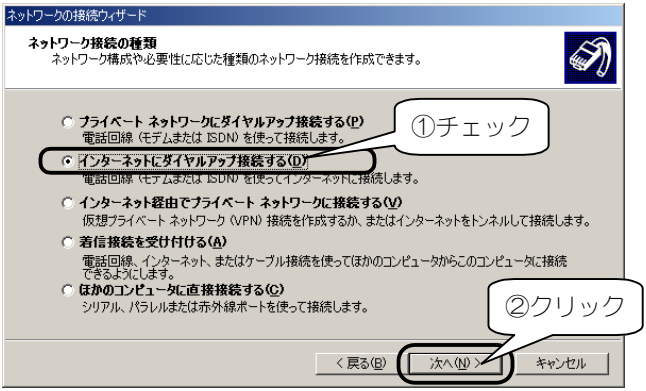
**3**　[新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



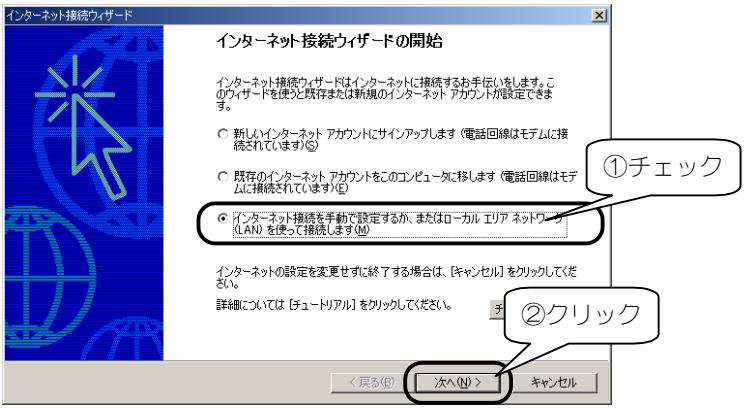

**4**　[次へ]ボタンをクリックします。



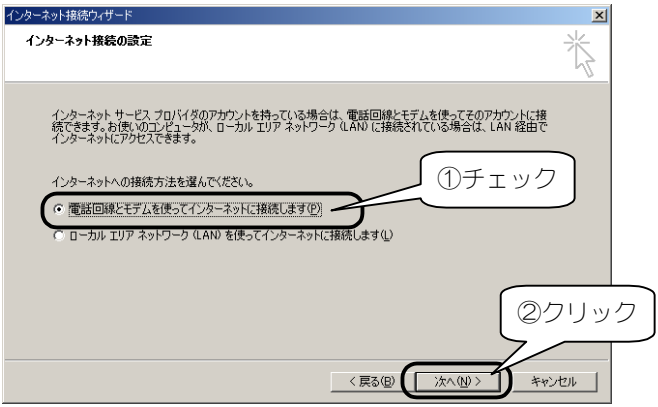

**5**　[インターネットにダイヤルアップ接続する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



**6** [インターネット接続を手動で設定するか、……]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。




**7** [電話回線とモデムを使ってインターネットに…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



**8** 複数のモデムがインストールされている場合は以下の画面が表示されますので、本製品を選択して、
[次へ]ボタンをクリックします。



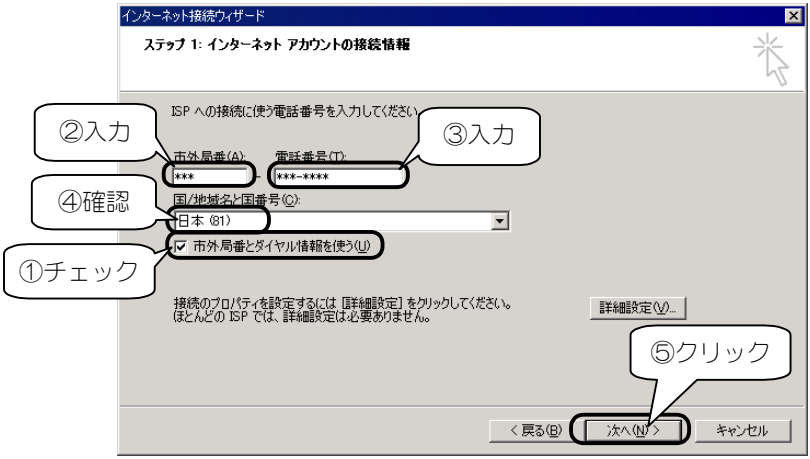

*ここでは以下を選択します。*
・PCML-560EL をお使いの場合　→[I-O DATA PCML-560]
・USB-DM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-DM560]
・USB-PM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-PM560]

**9** 以下のようにプロバイダの電話番号などを設定します。

①[市外局番とダイヤル情報を使う]をチェックします。
②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
④[国/地域名と国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

[電話番号]以外に、プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照してください。

設定後、[次へ]ボタンをクリックします。




**注意**

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

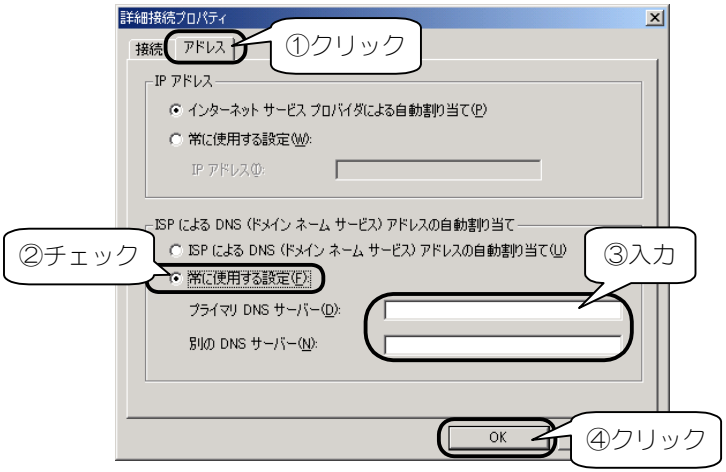
## ●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

**1** 前ページ**9** の手順の画面で、[詳細設定]ボタンをクリックします。

**2** [詳細接続プロパティ]画面が表示されますので、以下の手順で設定します。

①[アドレス]タブをクリックします。
②[常に使用する設定]をチェックします。
③[プライマリ DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[別の DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。

設定後、[OK]ボタンをクリックします。




**3** 前ページ**9** の手順の画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックして、次ページ ***10*** の手順へお進みください。

**注意**

**・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。**
**・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。**

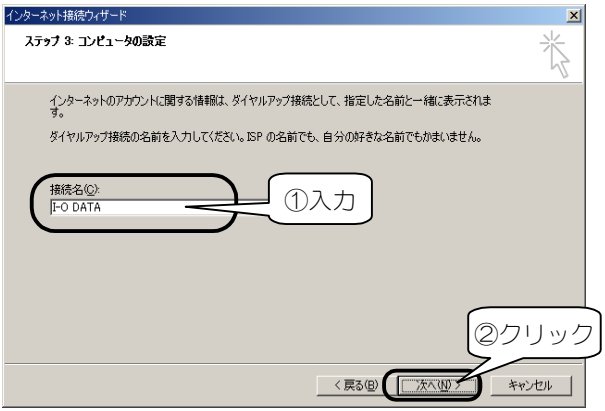
**10** プロバイダから案内された[ユーザー名]や[パスワード]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。




注意

**パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**

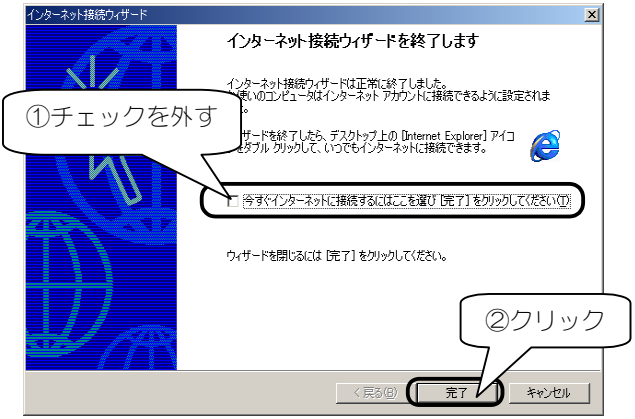
**11** [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



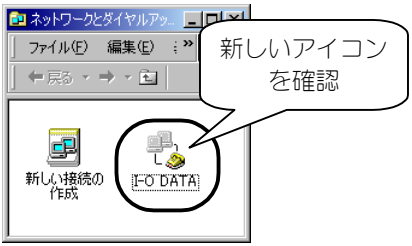
**12** [いいえ]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
メールアカウントの設定はメールソフト側で行えるので、本書では、ここで設定は行いません。




**13** [今すぐインターネットに…]のチェックを外して、
[完了]ボタンをクリックします。



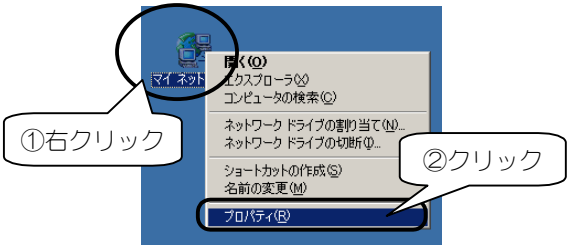
**14** 新しく作成された接続アイコンを確認します。




以上で、[ダイヤルアップ接続]の設定は終了です。
18 ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、
実際にインターネットに接続してみましょう。

## 設定を変更するとき

**1** [マイネットワーク]アイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。

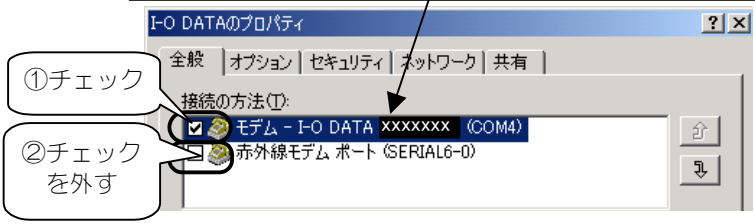



**2** 変更したい接続のアイコンを右クリックして、
表示された[プロパティ]をクリックします。



## 3 [接続の方法]欄に複数のモデムが表示された場合、本製品のみをチェックします。（他のモデムのチェックは外します。）

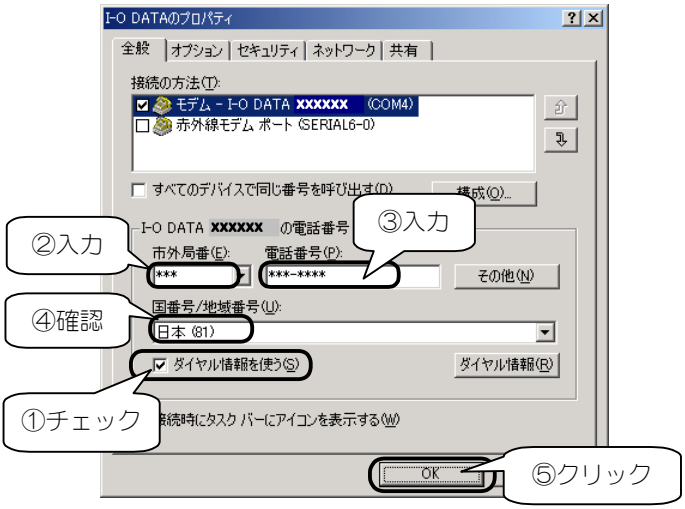
*ここには以下が表示されます。*
・PCML-560EL をお使いの場合　→[I-O DATA PCML-560]
・USB-DM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-DM560]
・USB-PM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-PM560]




## 4 以下のようにプロバイダの電話番号などを設定します。

①[ダイヤル情報を使う]をチェックします。
②[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
③[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
④[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。

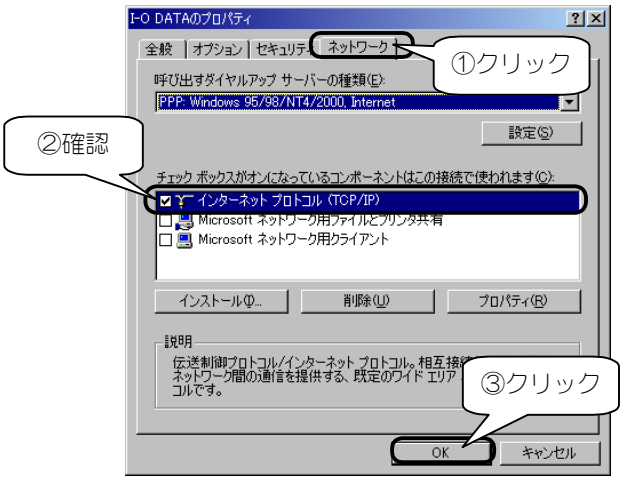
設定後、[OK]ボタンをクリックします。




注意

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

**5** [ネットワーク]タブをクリックして、
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみにチェックが付いていることを確認します。
プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照し、設定してください。
[OK]ボタンをクリックします。

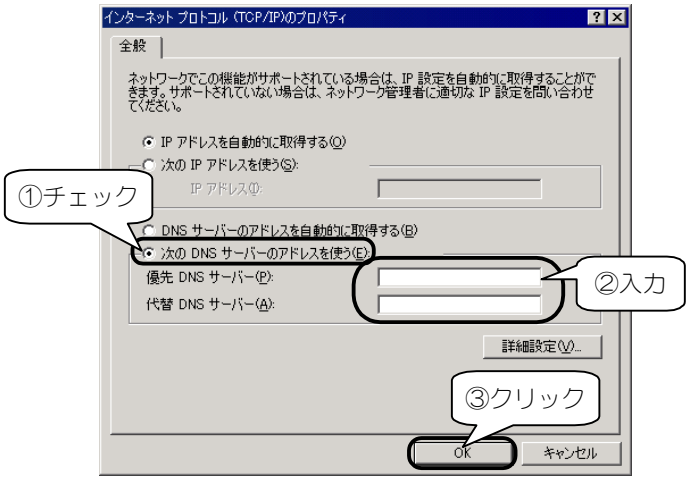



これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。
18 ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、さっそくインターネットに接続してみましょう。

## ●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

**1** 前ページ**5**の手順の画面で、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックした後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

**2** [インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ]画面が表示されますので、以下を設定します。
①[次の DNS サーバーのアドレスを使う]をチェックする
②[優先 DNS サーバー]欄にプライマリ DNS を、[代替 DNS サーバー]欄にセカンダリ DNS の値を入力する
設定後、[OK]ボタンをクリックします。




**3** 前ページ**5**の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

**注意**

**・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。**
**・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。**

ステップ
3

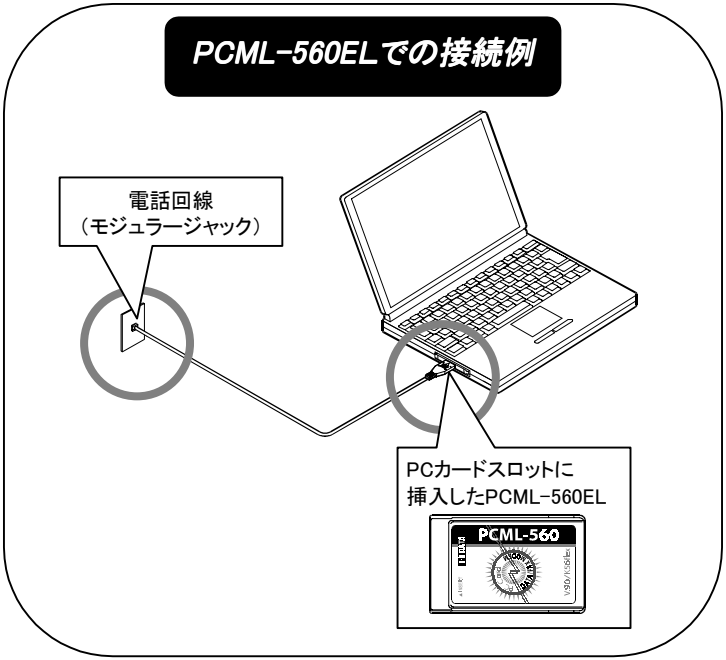
インターネット接続編

# インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

## 接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、毎回以下を確認してからインターネットに接続してください。



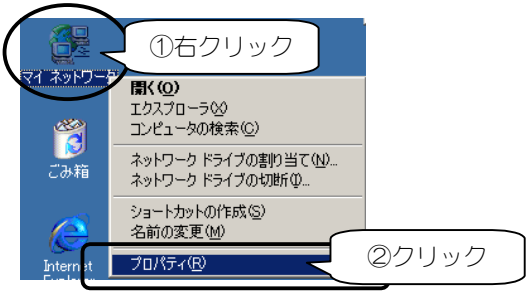

*チェック：電話回線と本製品の接続*

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

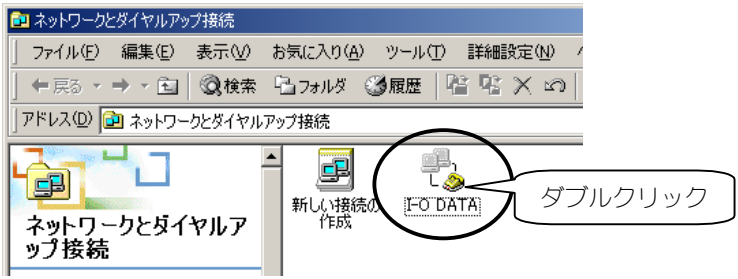
# インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップ接続]を設定する】(5 ページ)で作成した[ダイヤルアップ接続]で行います。

**1** [マイネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

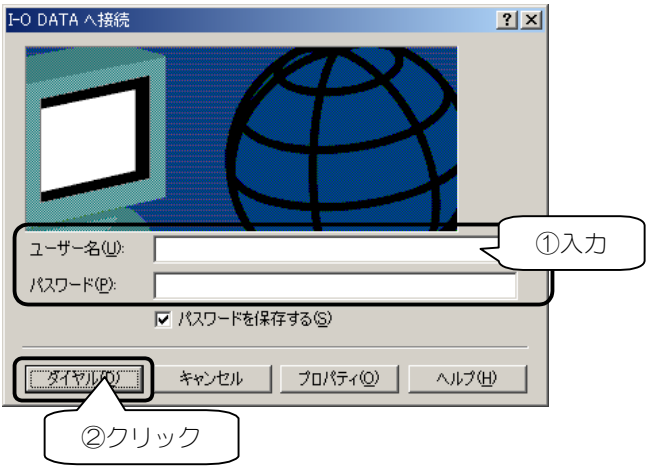



**2** 新しく作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



## 3 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号（次ページの手順で確認できます）にかかりプロバイダと通信を開始します。




**注意**

**・パスワードは[*****]と表示されます。**
**入力した文字数に関係無く、16 桁ですが、Windows 2000 のセキュリティ上の仕様です。**
**・[パスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されますので、パスワードを入力する必要がありません。**
**セキュリティの必要に応じてお使いください。**

**参考**

**接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合は**
**→[プロパティ]ボタンをクリックし、次ページを参照してください。**

## ●接続先の電話番号を確認したい、または変更したい場合

**1** 前ページ**3**の手順の画面で、[プロパティ]ボタンをクリックします。

**2** 以下の各設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

①[接続の方法]欄は、本製品※が表示されていること(複数のモデムがある場合は本製品※のみがチェックされていること)を確認します。

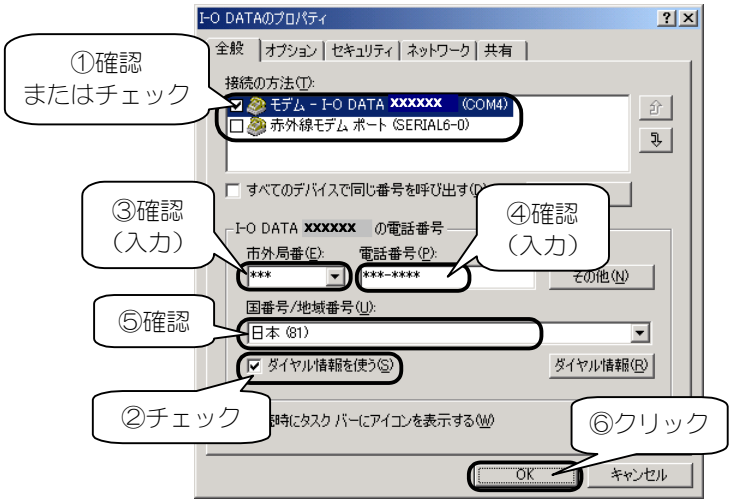
※PCML-560 の場合は[I-O DATA PCML-560]
USB-DM560 の場合は[I-O DATA USB-DM560]
USB-PM560 の場合は[I-O DATA USB-PM560]

②[ダイヤル情報を使う]をチェックします。

③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を確認または入力します。

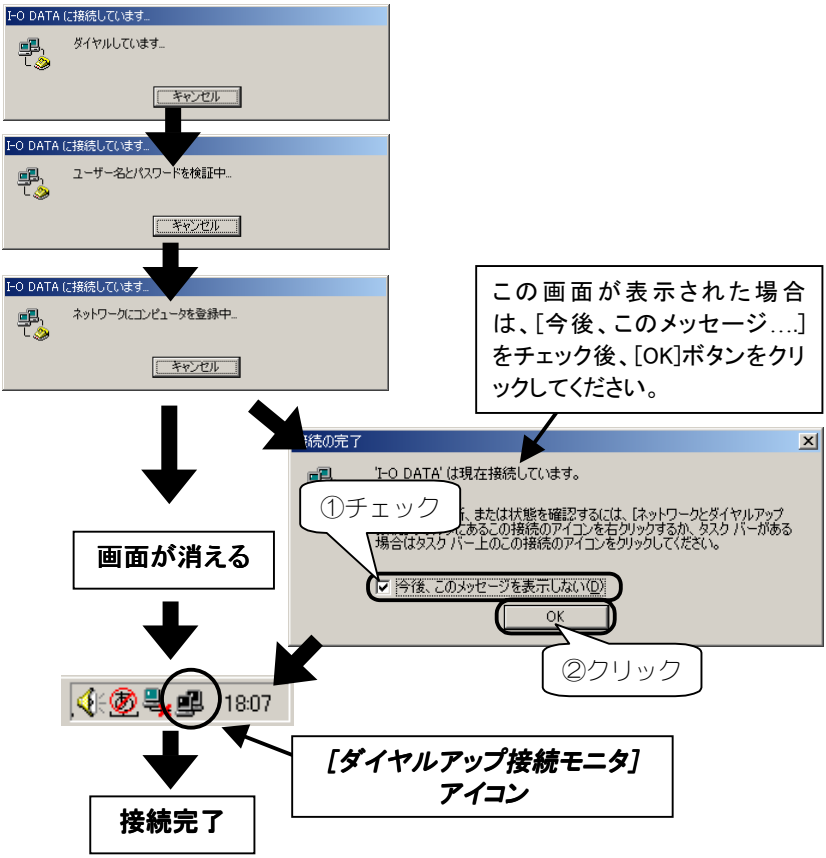
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を確認または入力します。

⑤[国番号/地域番号]欄は、「日本」であることを確認します。




**3** 前ページ**3**の手順の画面に戻りますので、[ダイヤル]ボタンをクリックして、インターネットに接続しましょう。

**4** しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されたら、接続完了です。



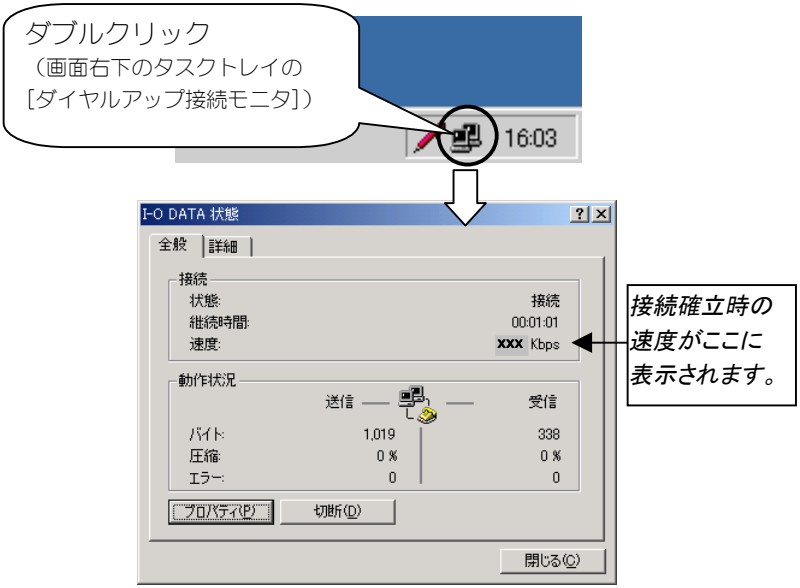

「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 125 ページをご参照ください。

[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 127 ページをご参照ください。

**5** 接続状況は、[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。




**6** ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、ずっと[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。

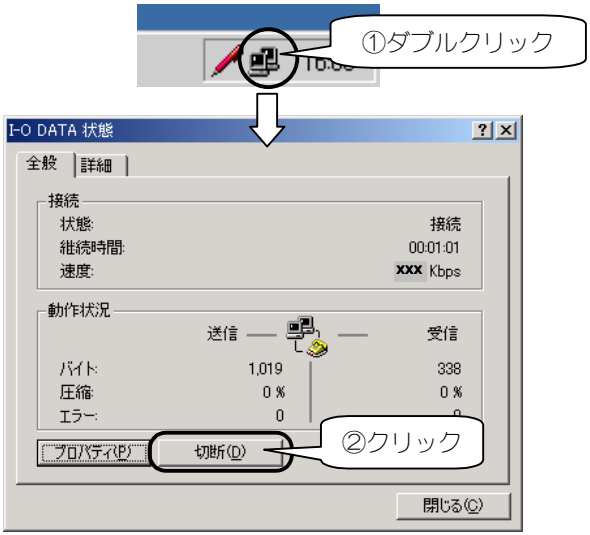
# インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

**ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。**
**必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。**
**クリック後、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることを必ず確認してください。**

**1** インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]をクリックします。
これでインターネットが切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。




以上で、インターネットは終了できました。

# 2 Windows Me でのインターネット

Windows Me でインターネットに
接続するには ･･･ 26ページ
ステップ1 接続前の準備 ･･･････････････ 27ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ･･･ 28ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう ･････ 38ページ

インターネット接続編

# Windows Me で インターネットに接続するには

別冊【*インストール編*】の設定をすべて終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

*ステップ 1*

***接続前の準備*** ……27ページ

インターネットに接続する上で必要な
確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・パソコン、本製品、電話回線の準備

*ステップ 2*

***接続に必要なソフトウェア*** ……28ページ

インターネットに接続するために必要な
ソフトウェアについて説明します。

・ダイヤルアップアダプタ
・TCP/IP
・ダイヤルアップネットワーク

*ステップ 3*

***インターネットを楽しもう*** ……38ページ

【ステップ2】で設定した［ダイヤル
アップネットワーク］で実際に
インターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】38 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2:パソコン、本製品、電話回線の準備

パソコン、本製品、電話回線（モジュラージャック）があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック:電話回線と本製品の接続

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下のソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

### ①本製品のドライバソフトウェア

本製品を使用できるようにするために必要なソフトウェアです。
別冊【インストール編】を参照し、インストールを行ってください。
また、正常にインストールされているかも別冊【インストール編】を参照し、確認してください。

### ②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

次ページ以降で説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

### ③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows Me には、Web ブラウザとして InternetExplorer が標準でインストールされています。

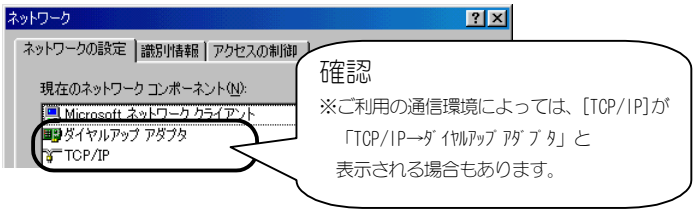
次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

# [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]を確認する

**1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。




**2** [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]（または[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ]）があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。




[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない場合は…

【困ったときには】の131 ページをご参照ください。

# [ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップネットワーク]を設定する必要があります。

はじめて［ダイヤルアップネットワーク］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。



**参考1**

**ダイヤルアップとは**

**→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。**



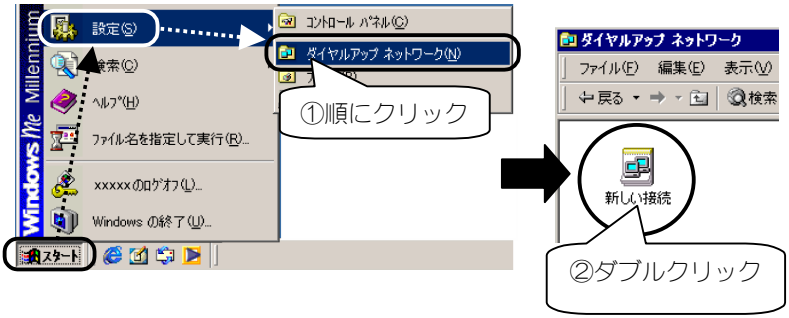
**参考2**

**すでに[ダイヤルアップネットワーク]の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は35 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。**

## 新しい設定を作るとき

**1** インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

**2** [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックし、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。

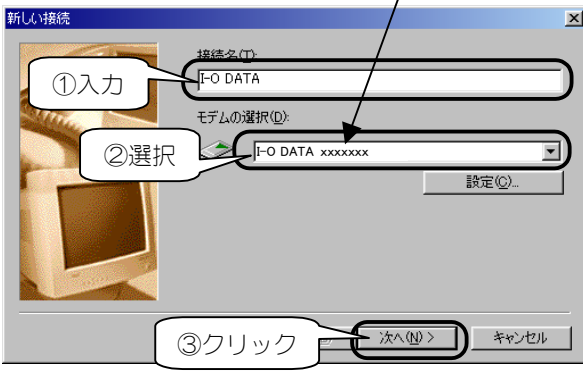



[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 129 ページをご参照ください。

**3** [接続名]欄に任意の接続名（お好きな名前）を入力して、
[モデム]の選択欄から本製品を選び、
[次へ]ボタンをクリックします。

*ここには以下を選択します。*
・PCML-560EL をお使いの場合　→[I-O DATA PCML-560]
・USB-DM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-DM560]
・USB-PM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-PM560]




**4** 以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

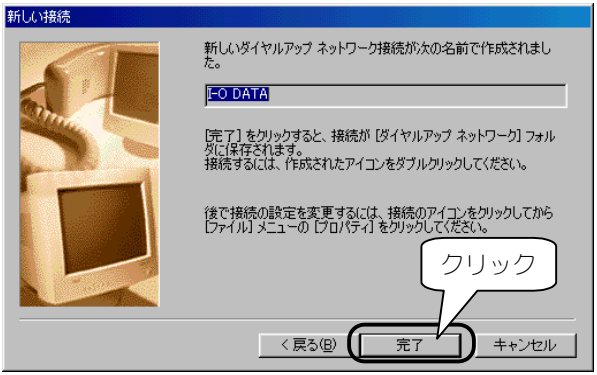
| | |
|---|---|
| 市外局番 | 接続先（プロバイダ）の市外局番 |
| 電話番号 | 接続先（プロバイダ）の電話番号 |
| 国番号 | [日本] |



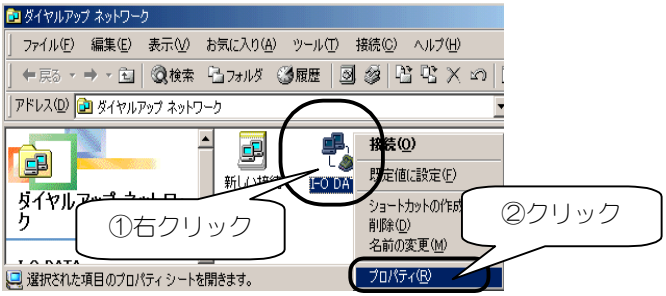

注意

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

**5** [完了]ボタンをクリックします。




**6** 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に*3*の手順で指定した接続名が表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



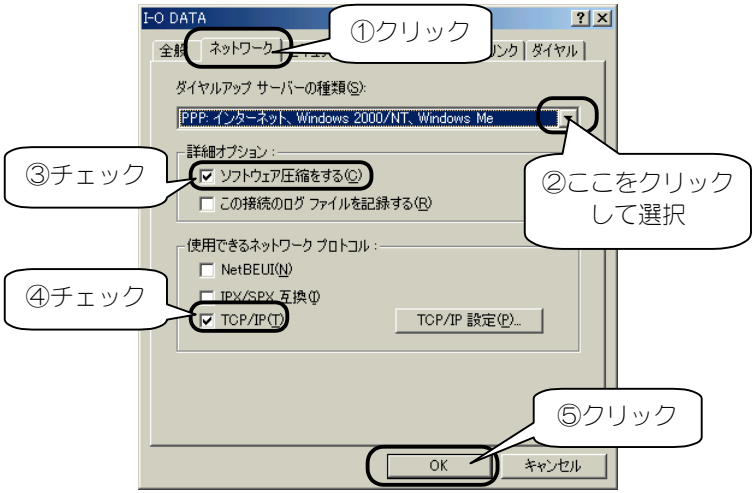
7 [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]をチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみをチェック

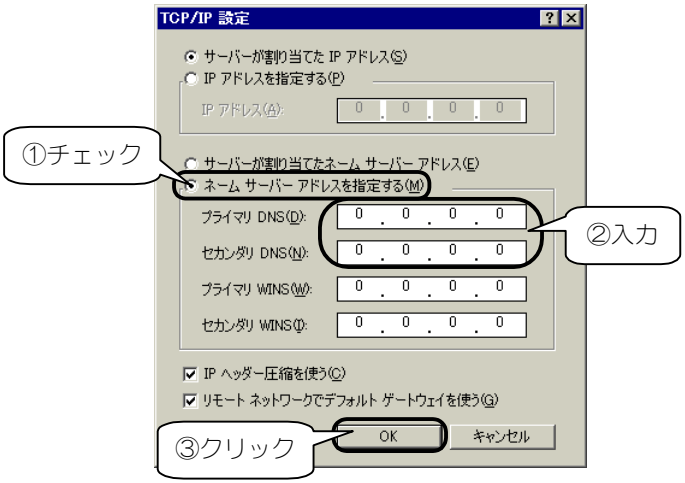
プロバイダからネームサーバーアドレス（プライマリDNS、セカンダリDNS）を案内されている場合は次ページを参照してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



## ●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

**1** 前ページ**7**の手順の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。

**2** 以下を設定します。
①[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
②[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。




**注意**

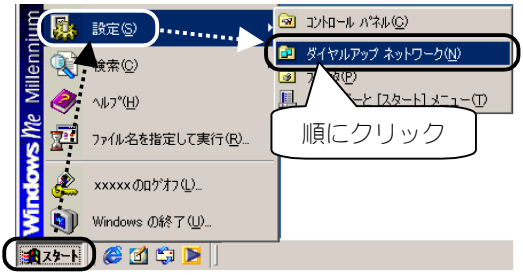
**・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。**
**・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。**

以上でダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(38 ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

## 設定を変更するとき

本製品を使用する前に、すでに他のモデムなどを使用していて、［ダイヤルアップネットワーク］の設定を終了している場合には、以下の手順のように、［接続方法］を本製品に切り替えるだけでも設定できます。

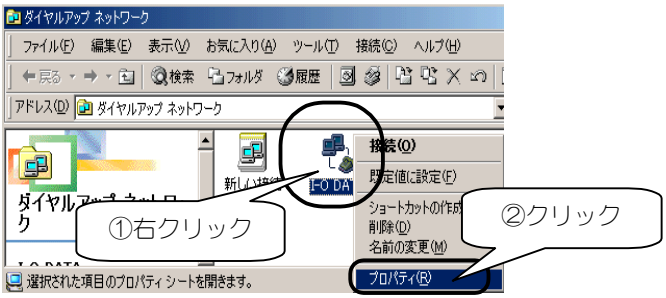
**1** [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックします。




［ダイヤルアップネットワーク］が表示されない場合は…

【困ったときには】の 129 ページをご参照ください。

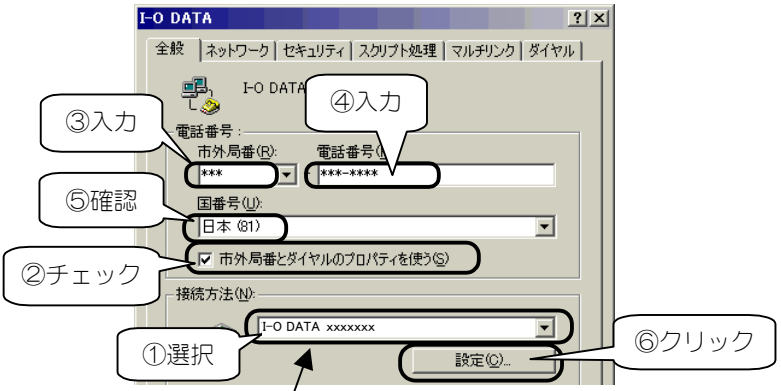
**2** 変更したい接続のアイコンを右クリックして[プロパティ]をクリックします。



**3** 以下を設定します。

①[接続方法]に本製品を選びます。
②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[設定]ボタンをクリックします。




*ここには以下を選択します。*
・PCML-560EL をお使いの場合　→[I-O DATA PCML-560]
・USB-DM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-DM560]
・USB-PM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-PM560]

注意

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

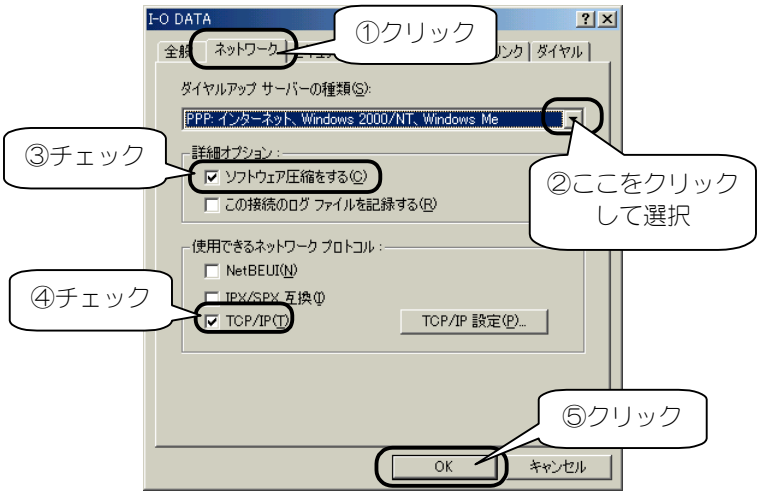
**4** [ネットワーク]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]をチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は34ページを参照し、設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。




**5** [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(次ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ
3

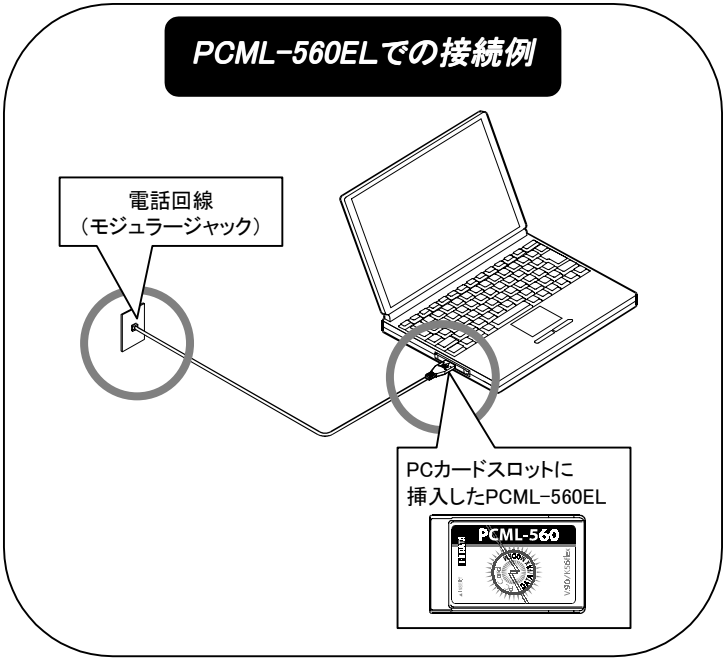
インターネット接続編

# インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

## 接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、毎回以下を確認してからインターネットに接続してください。



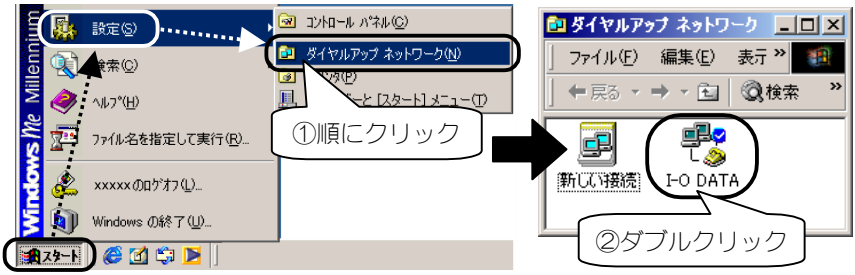

*チェック：電話回線と本製品の接続*

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

# インターネットに接続する

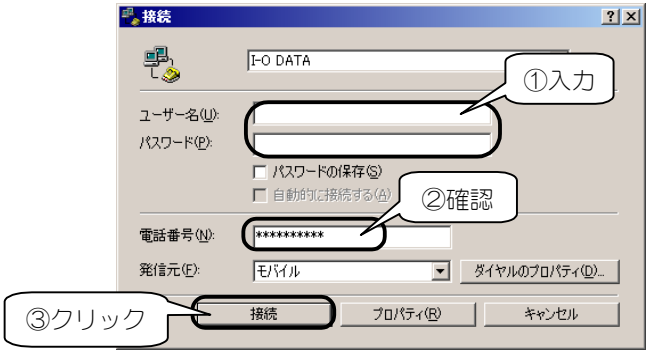
インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(29 ページ) で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

**1** [スタート]→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にクリックして、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。




**2** プロバイダから案内されたユーザー名とパスワードを入力して、[電話番号]欄に発信する番号が表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。




**注意**

**・[電話番号]欄の「**********」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**

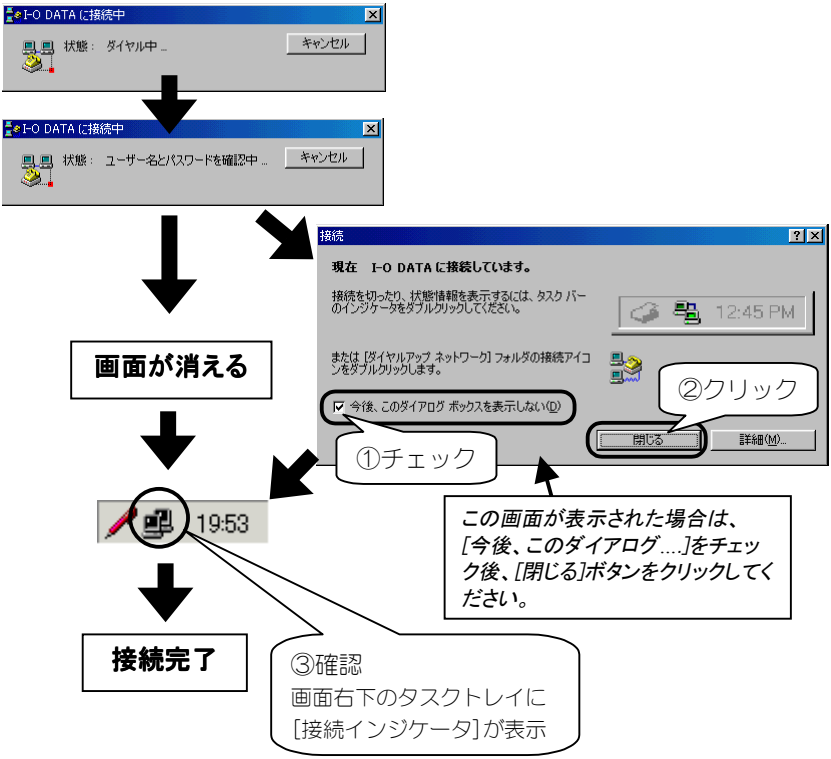
**・パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**

注意

**・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されますので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**
**・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の接続名（31 ページ*3* の手順の①で設定した接続名）を選択してください。**

## 3 しばらくして「. . . に接続中」という画面が消えたら、完了です。

パソコン画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されます。



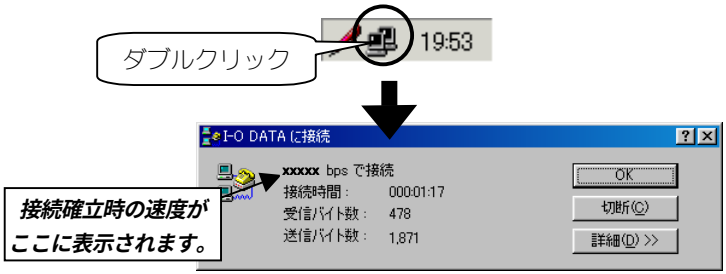

「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 125 ページをご参照ください。

[接続インジケータ]アイコンが表示されない場合は…

【困ったときには】の 127 ページをご参照ください。

**4** 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。




**5** ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。

# インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

**ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。**
**必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。**
**クリック後、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。**

**1** インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。
これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。




以上で、インターネットは終了できました。

# 3 Windows 98/95 でのインターネット

※USB-DM560、USB-PM560 は Windows 95 には対応しておりません。

Windows 98/95 でインターネットに
接続するには ･･･ 44ページ
ステップ1 接続前の準備 ･･･････････････ 45ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ･･･ 46ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう ･････ 56ページ

インターネット接続編

# Windows 98/95 で インターネットに接続するには

別冊【*インストール編*】の設定をすべて終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

**ステップ 1**

***接続前の準備*** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ***45ページ***

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

- ・プロバイダとの契約
- ・パソコン、本製品、電話回線の準備

**ステップ 2**

***接続に必要なソフトウェア*** ・・・・・・・・・・・・・・ ***46ページ***

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

- ・ダイヤルアップアダプタ
- ・TCP/IP
- ・ダイヤルアップネットワーク

**ステップ 3**

***インターネットを楽しもう*** ・・・・・・・・・・・・・・・・ ***56ページ***

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】56 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2：パソコン、本製品、電話回線の準備

パソコン、本製品、電話回線（モジュラージャック）があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック：電話回線と本製品の接続

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続に必要なソフトウェア

インターネットに接続するには、以下のソフトウェアがインストールおよび設定されている必要があります。

### ①本製品のドライバソフトウェア

本製品を使用できるようにするために必要なソフトウェアです。
別冊【インストール編】を参照し、インストールを行ってください。
また、正常にインストールされているかも別冊【インストール編】を参照し、確認してください。

### ②ダイヤルアップを行うためのソフトウェア

次ページ以降で説明します。

ダイヤルアップを行ってプロバイダに接続するためのソフトウェアです。
詳細な設定は、次ページ以降を参照してください。

### ③Web ブラウザやメールソフトウェア

インターネットに接続する際に特に必要ではありませんが、接続後に、ホームページなどを見るためのソフトウェアです。
Windows 98 や Windows 95 OSR2には、Web ブラウザとして InternetExplorer が標準でインストールされています。

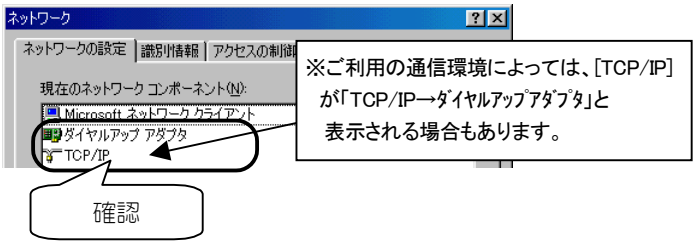
ここでは、次ページ以降で[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の確認、および、[ダイヤルアップアダプタ]の設定について説明します。
はじめてインターネットに接続する場合、また、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合にも、次ページ以降を参照してください。

# [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]を確認する

**1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。




**2** [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]（または[TCP/IP->ダイヤルアップアダプタ]）があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。




[ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 131 ページをご参照ください。

# [ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、パソコンからプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[ダイヤルアップネットワーク]を設定する必要があります。

はじめて［ダイヤルアップネットワーク］の設定を行う場合、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、次ページ【新しい設定を作るとき】を行います。



**参考 1**

**ダイヤルアップとは**

**→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者（プロバイダ）に接続すること。**



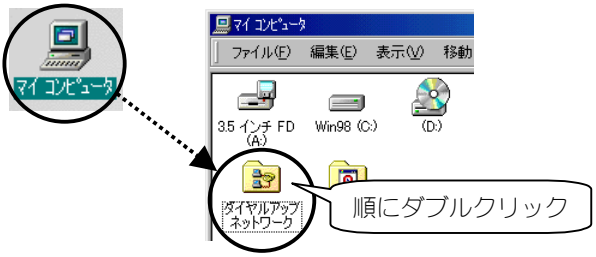
**参考 2**

**すでに[ダイヤルアップネットワーク]の設定を行っていて、設定内容を変更する場合は 53 ページ【設定を変更するとき】をご覧ください。**

## 新しい設定を作るとき

**1** インターネットプロバイダから入手した[ユーザー名]や[パスワード]などが記載されている資料をご用意ください。

**2** [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を順にダブルクリックします。



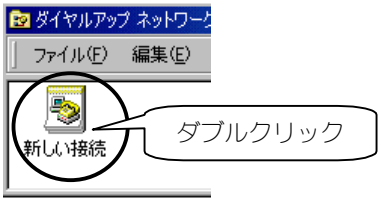

[ダイヤルアップネットワーク]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 129 ページをご参照ください。

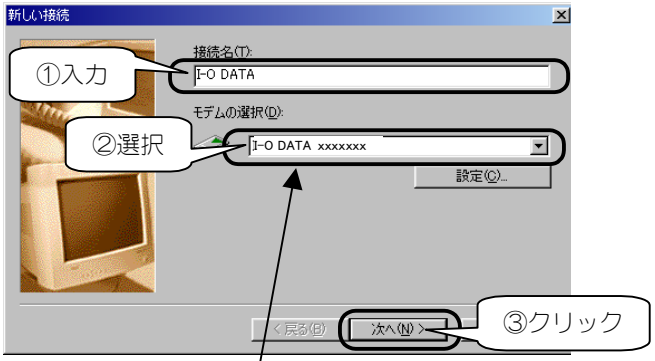
**3** 以下の画面が表示された場合は、[次へ]ボタンをクリックします。



**4** 以下の画面が表示された場合は、
[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。



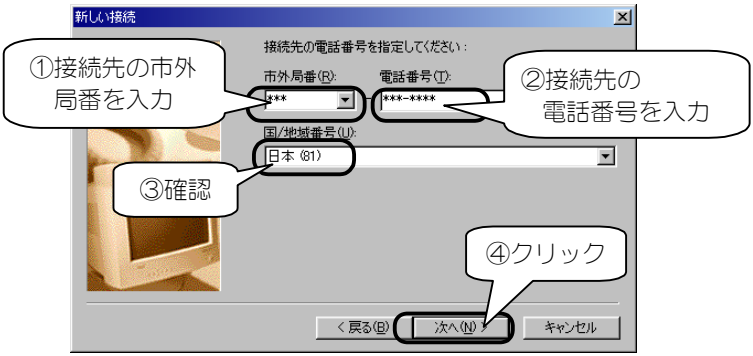

**5** [接続名]欄に任意の接続名(お好きな名前)を入入力し、
モデムの選択欄から本製品を選び、
[次へ]ボタンをクリックします。




*ここには以下を選択します。*
- ·PCML-560EL をお使いの場合　→[I-O DATA PCML-560]
- ·USB-DM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-DM560]
- ·USB-PM560 をお使いの場合　→[I-O DATA USB-PM560]

## 6　以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

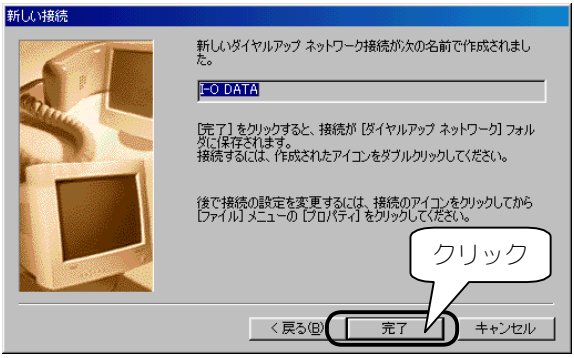
| | |
|---|---|
| 市外局番 | 接続先（プロバイダ）の市外局番 |
| 電話番号 | 接続先（プロバイダ）の電話番号 |
| 国/地域番号 | [日本] |




**注意**

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

## 7　[完了]ボタンをクリックします。



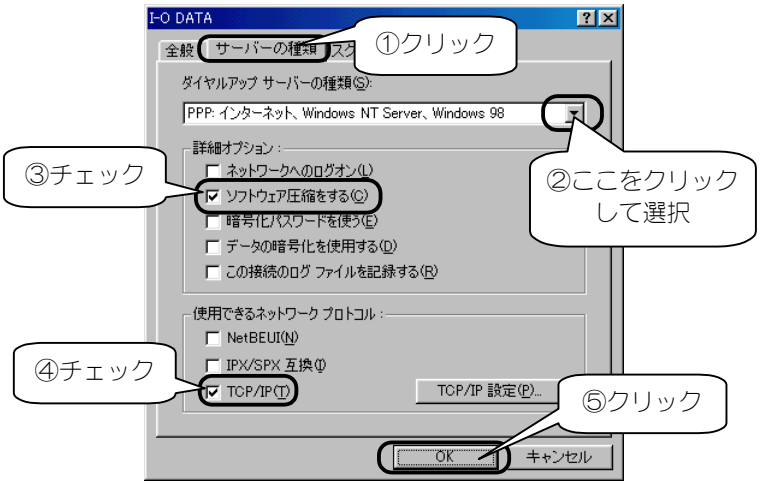
**8** 新しく作成したアイコンが[ダイヤルアップネットワーク]画面に **5** の手順で指定した[接続名]で表示されます。
新しく作成したアイコンを右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。




**9** [サーバーの種類]タブをクリックし、以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
　[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択
・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]をチェック
・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は次ページを参照し、設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

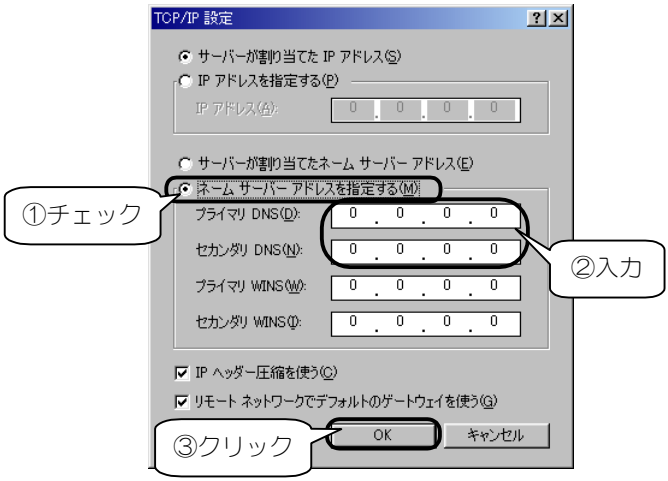



以上でダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(56 ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

## ●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

**1** 前ページ**9** の手順の画面で、[TCP/IP 設定]ボタンをクリックします。

**2** 以下を設定します。
①[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェックします。
②[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

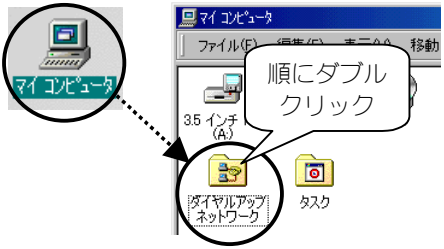



**注意**

**・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。**
**・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。**

## 設定を変更するとき

**1** [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]アイコンを順にダブルクリックします。



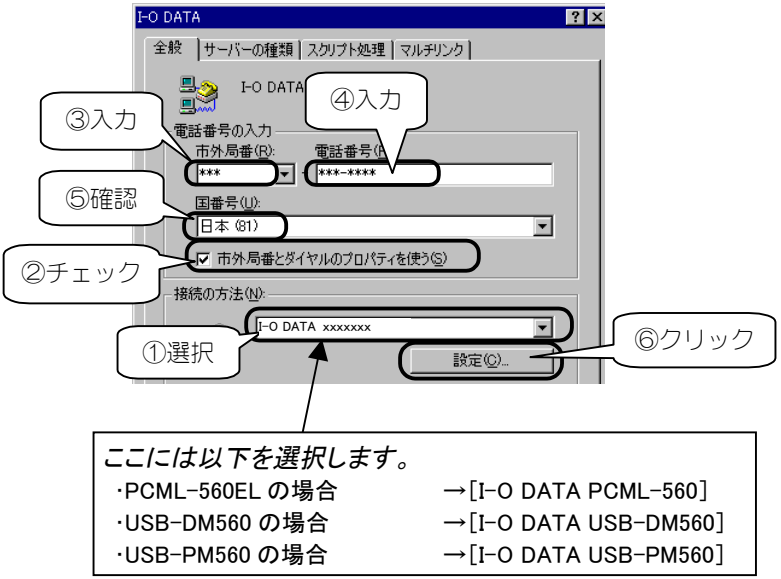

**2** 変更したい接続のアイコンを右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。



**3** 以下を設定します。

①[接続の方法]に本製品を選びます。
②[市外局番とダイヤルのプロパティを使う]をチェックします。
③[市外局番]欄には、接続先の市外局番を入力します。
④[電話番号]欄には、接続先の電話番号を入力します。
⑤[国番号]欄は、「日本」であることを確認します。

設定後、[設定]ボタンをクリックします。




*ここには以下を選択します。*

| | |
|---|---|
| ・PCML-560EL の場合 | →[I-O DATA PCML-560] |
| ・USB-DM560 の場合 | →[I-O DATA USB-DM560] |
| ・USB-PM560 の場合 | →[I-O DATA USB-PM560] |

注意

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

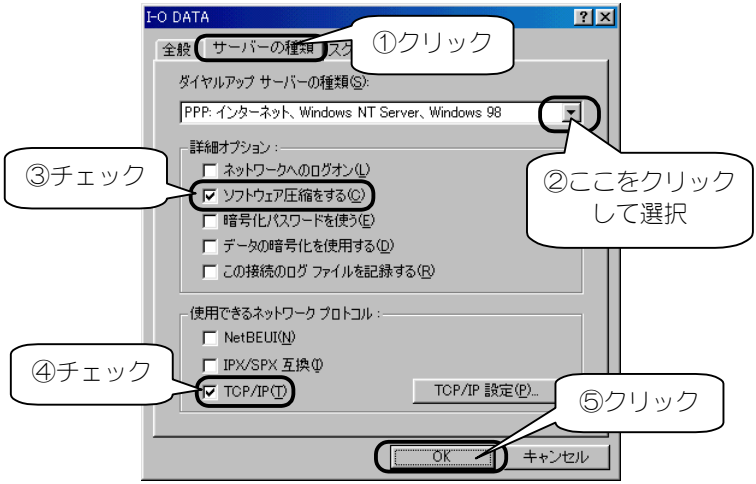
**4** [サーバーの種類]タブをクリックし、
以下のように設定します。

・[ダイヤルアップサーバーの種類]では
[PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98]を選択

・[詳細オプション]で[ソフトウェア圧縮をする]をチェック

・[使用できるネットワークプロトコル]で[TCP/IP]のみにチェック

プロバイダからネームサーバーアドレス（プライマリDNS、セカンダリDNS）を案内されている場合は52ページを参照し、設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。




**5** [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。
【インターネットを楽しもう】(次ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ
3

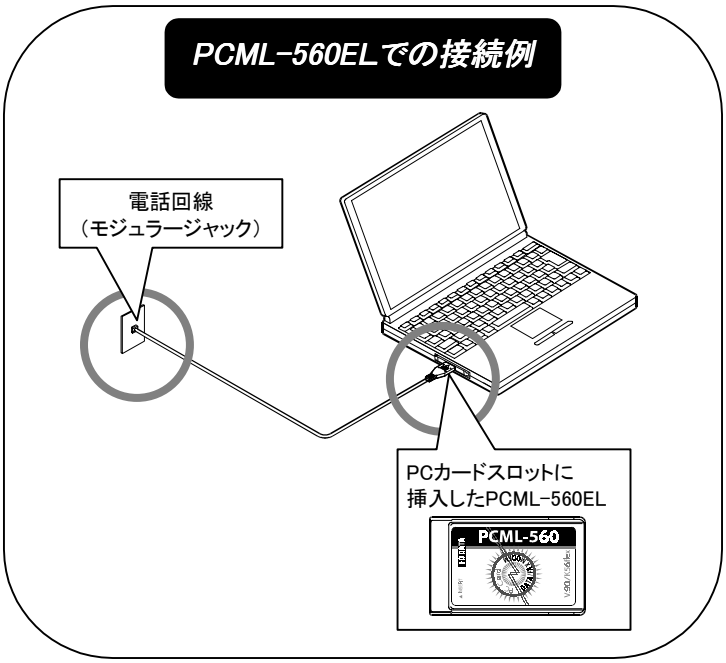
インターネット接続編

# インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

## 接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、毎回以下を確認してからインターネットに接続してください。



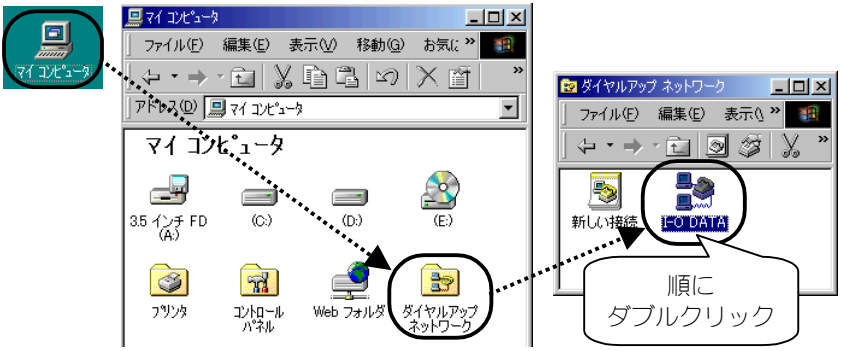

*チェック：電話回線と本製品の接続*

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

# インターネットに接続する

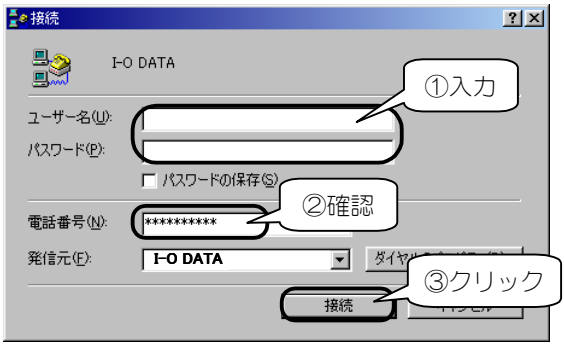
インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(47 ページ)で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

**1** [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]→作成した接続のアイコンを順にダブルクリックします。




**2** プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[電話番号]欄に発信する番号が表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、プロバイダと通信を開始します。




注意

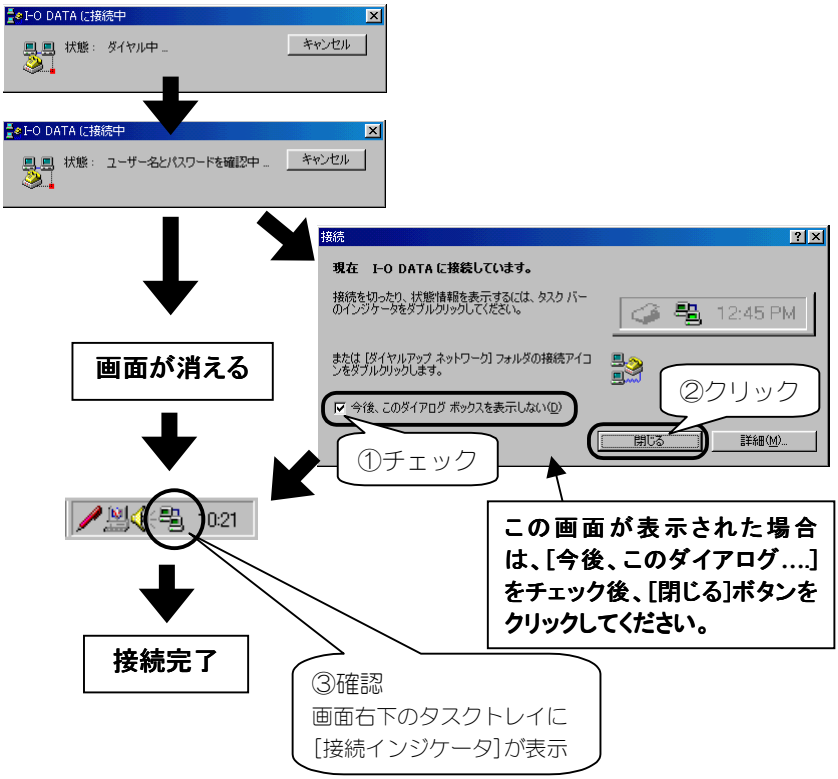
**・[電話番号]欄の「**********」は、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号が表示されていることを確認してください。**
**・パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**

注意

**・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**
**・他のモデムも併用している場合、[発信元]欄に本製品用の接続名（49 ページの *5* の手順の①で設定した[接続名]）を選択してください。**

## *3* しばらくして「. . . に接続中」という画面が消えたら、完了です。

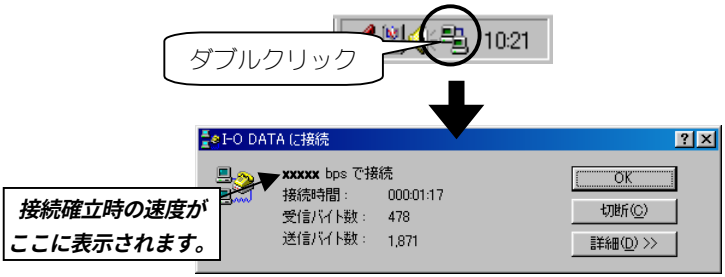
パソコン画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されます。




「回線が使用中です」などと表示された場合は…
【困ったときには】の 125 ページをご参照ください。

[接続インジケータ]アイコンが表示されない場合は…
【困ったときには】の 127 ページをご参照ください。

**4** 接続状況は、[接続インジケータ]アイコンを
ダブルクリックすれば確認できます。




**5** ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[接続インジケータ]が表示されています。

# インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

**ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。**
**必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。**
**クリック後、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。**

*1* インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。
これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。




以上で、インターネットは終了できました。

# 4 Windows NT 4.0 でのインターネット

※USB-DM560、USB-PM560 は Windows NT 4.0 には対応しておりません。

Windows NT 4.0 でインターネットに
接続するには ･･･ 62ページ
ステップ1 接続前の準備 ･･･････････････ 63ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ･･･ 64ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう･････ 73ページ

インターネット接続編

# *Windows NT 4.0 で インターネットに接続するには*

別冊【*インストール編*】の設定をすべて終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

*ステップ 1*

***接続前の準備*** ····· *63ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約

・パソコン、本製品、電話回線の準備

*ステップ 2*

***接続に必要なソフトウェア*** ····· *64ページ*

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

・ダイヤルアップネットワーク

*ステップ 3*

***インターネットを楽しもう*** ····· *73ページ*

【ステップ2】で設定した［ダイヤルアップネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネット接続を行うには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】73 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2：パソコン、本製品、電話回線の準備

パソコン、本製品、電話回線（モジュラージャック）があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック：電話回線と本製品の接続

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続に必要なソフトウェア

本製品経由でインターネット接続を行うには、パソコンに以下のソフトウェアをインストールし、設定する必要があります。

・ダイヤルアップネットワーク

すでに、[ダイヤルアップネットワーク]をインストールしている場合は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(67 ページ)へお進みください。

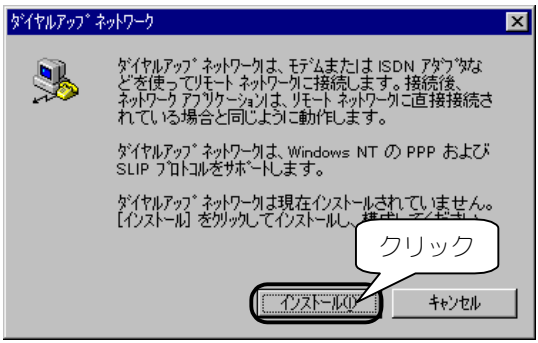
インストールしていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

## [ダイヤルアップネットワーク]をインストールする

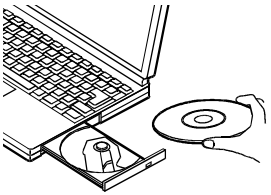
**1** [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。




**2** [インストール]ボタンをクリックします。



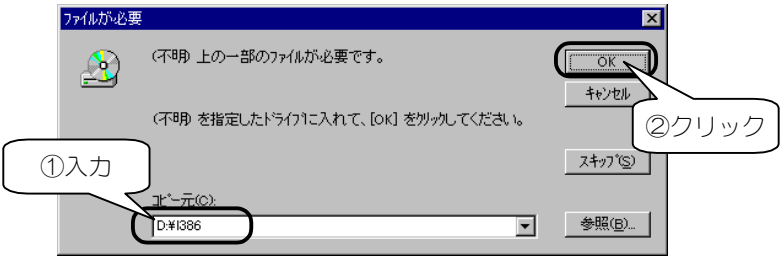

**3** Windows NT 4.0 の CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。



「Windows NT 4.0」CD-ROM

**4** 以下の画面が表示された場合は、
以下を入力して[OK]ボタンをクリックします。

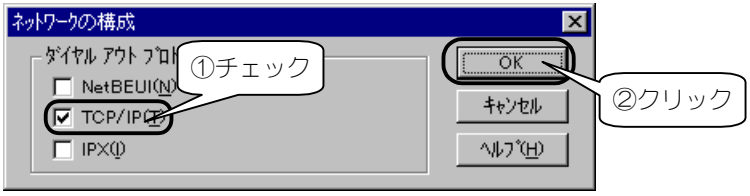
「D:¥i386」　（DOS/V マシン、NEC PC98-NX シリーズ）
「D:¥Pc98」　（NEC PC-9821 シリーズ）
（ともにCD-ROMドライブがDドライブの場合の入力例です。）




**5** [RASデバイスの追加]画面で、
本製品を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

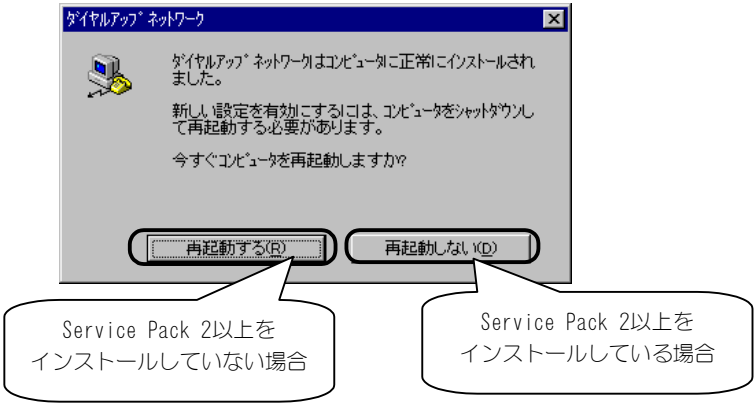
**6** [リモートアクセスセットアップ]画面が表示されますので、
[ネットワーク]ボタンをクリックします。

**7** [ネットワークの構成]画面が表示されますので、
[TCP/IP]のみをチェックして、[OK]ボタンをクリックします。




**8** [リモートアクセスセットアップ]画面に戻りますので、
[続行]をクリックします。

## 9 [ダイヤルアップネットワーク]画面に戻ります。




- ***Service Pack 2以上をインストールしている場合***
  [再起動しない]をクリックしてService Packをもう一度インストールしてから再起動してください。
- ***Service Pack 2以上をインストールしていない場合***
  ［再起動する］をクリックしてパソコンを再起動してください。

以上で、インストールは終了です。
次に【[ダイヤルアップネットワーク]を設定する】(次ページ)へお進みください。

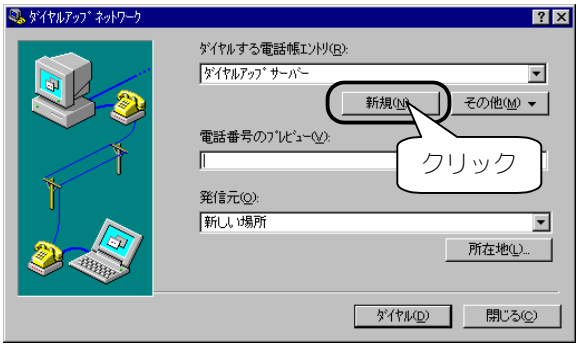
# [ダイヤルアップネットワーク]を設定する

インターネットに接続するには、さらに以下の［ダイヤルアップネットワーク］を設定する必要があります。

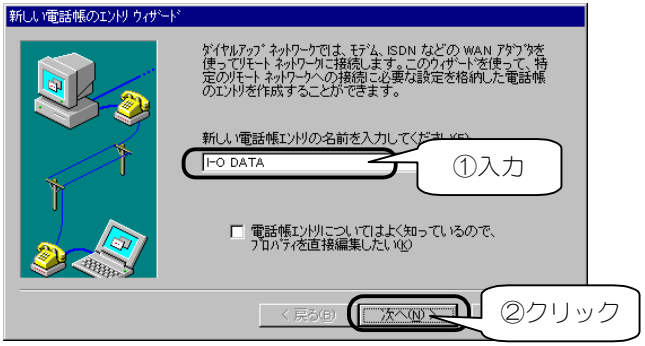
**1** [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップネットワーク」アイコンをダブルクリックし、以下の画面で[OK]ボタンをクリックします。



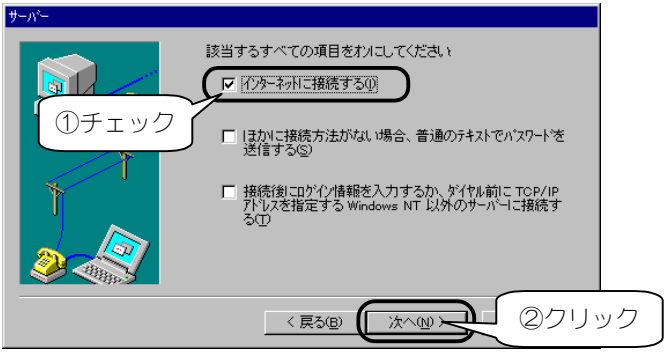

（既に「ダイヤルアップネットワーク」がインストールならびに設定されている場合は、下記の画面が表示されますので、[新規]ボタンをクリックしてください。）




**2** 電話帳に登録する名前（任意）を入力し、[次へ]をクリックします。



**3** [インターネットに接続する]をチェックして、
[次へ]をクリックします。




**4** [テレフォニーダイヤルのプロパティを使う]をチェックし、
以下を設定後、[次へ]ボタンをクリックします。

| | |
|---|---|
| 国番号 | [日本(81)] |
| 市外局番 | 接続先(プロバイダ)の市外局番 |
| 電話番号 | 接続先(プロバイダ)の電話番号 |




注意

**[市外局番][電話番号]欄の「***」「***-****」には、ご契約のプロバイダや接続先の電話番号を入力してください。**

**5** [完了]ボタンをクリックします。




**6** [ダイヤルアップネットワーク]画面に戻りますので、
[その他]をクリックし、[エントリとモデムのプロパティの編集]をクリックします。



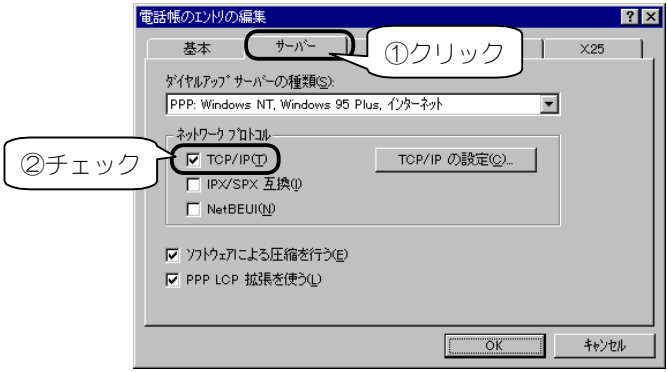

**7** [基本]タブで、[ダイヤル方法]に
[I-O DATA PCML-560]を選択し、[構成]ボタンをクリックします。



**8** [初期速度]が[115200]となっていることを確認後、[ハードウェアの機能]の項目をすべてチェックし、[OK]ボタンをクリックします。




**9** [サーバー]タブをクリックし、[ネットワークプロトコル]の[TCP/IP]をチェックします。
プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合は、次ページを参照し、設定してください。



## ●プロバイダからネームサーバーアドレス(プライマリDNS、セカンダリDNS)を案内されている場合

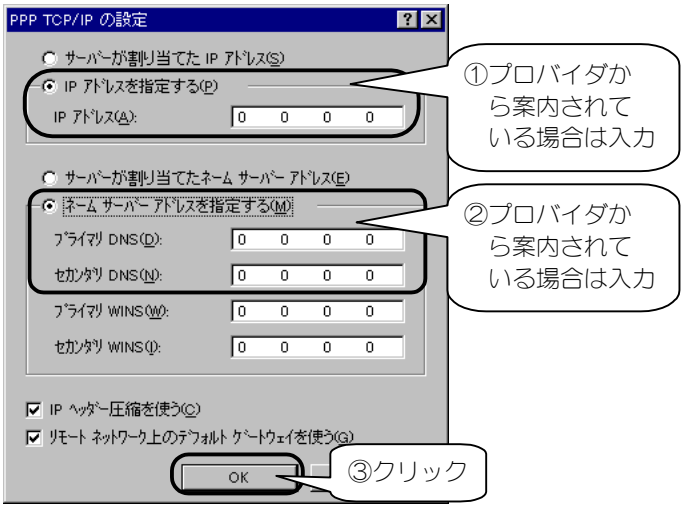
**1** 前ページ**9** の手順の画面で、[TCP/IP の設定]ボタンをクリックします。

**2** 以下を設定します。

①プロバイダからパソコンの IP アドレスを指定されている場合は、[IP アドレスを指定する]をチェックし、[IP アドレス]に IP アドレスを入力します。

②[ネームサーバーアドレスを指定する]をチェック後、[プライマリ DNS]欄にプライマリ DNS を、[セカンダリ DNS]欄にセカンダリ DNS の値を入力します。

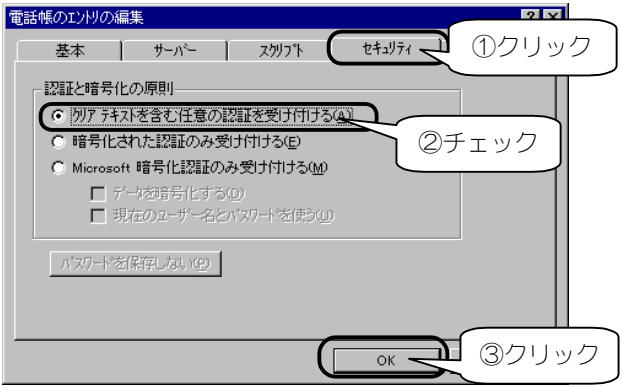
設定後、[OK]ボタンをクリックします。




注意

**・ネームサーバーアドレスの入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。**
**・プロバイダによっては、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、ご契約のプロバイダに確認してください。**

**10** [電話帳のエントリの編集]画面に戻ったら、今度は[セキュリティ]タブをクリックし、[クリア テキストを含む任意の認証を受け付ける]をチェックします。
チェック後、[OK]ボタンをクリックします。




**11** [閉じる]ボタンをクリックします。




これで[ダイヤルアップネットワーク]の設定は終了です。
次ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットへ接続してみましょう。

ステップ
3

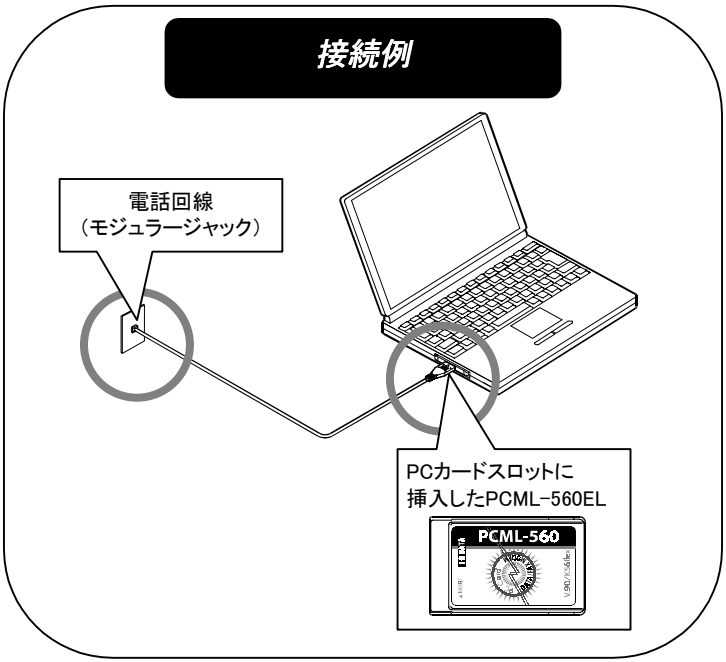
インターネット接続編

# インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

## 接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、毎回以下を確認してから、本製品をパソコンに取り付け、インターネットに接続してください。




*チェック：電話回線と本製品の接続*

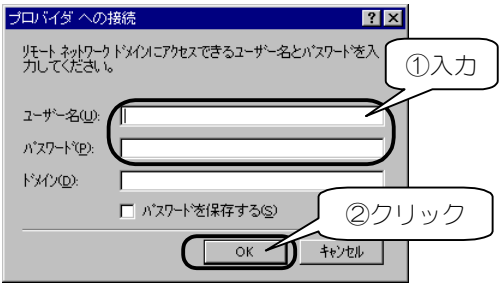
電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

# インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【[ダイヤルアップネットワーク] を設定する】(67 ページ)で作成した[ダイヤルアップネットワーク]で行います。

**1** [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

**2** プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[OK]ボタンをクリックします。




注意

**・パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
**・[パスワードを保存する]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されるのでパスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

**3** インターネットに接続されます。
ディスプレイ画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンが追加され、ダブルクリックすると接続状況を確認できます。




「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】の 125 ページをご参照ください。

**4** ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[ダイヤルアップネットワークモニタ]が表示されています。

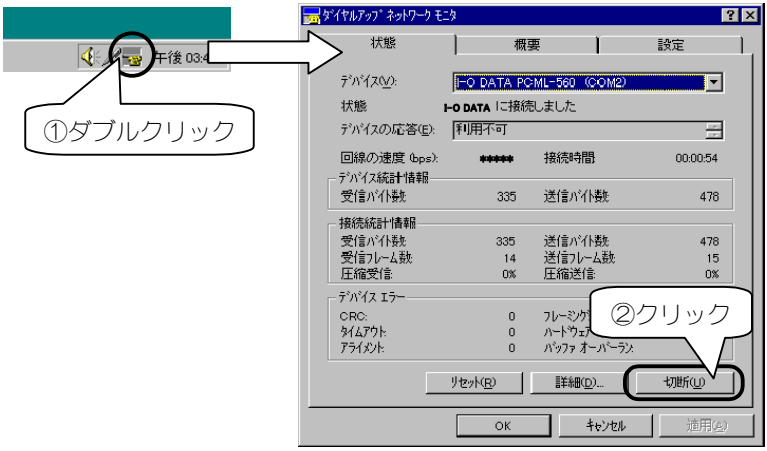
# インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

**ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。**
**必ず以下の[切断]ボタンをクリックしてください。**
**クリック後、[ダイヤルアップネットワークモニタ]が消えることを必ず確認してくださ**

**1** インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップネットワークモニタ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。




これで電話回線が切断され、画面右下の[ダイヤルアップネットワークモニタ]が消えます。
以上で、インターネットは終了できました。

MEMO

# 5 Windows CE でのインターネット

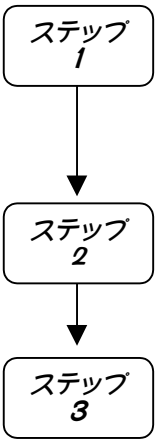
※USB-DM560、USB-PM560 は Windows CE には対応しておりません。

Windows CE でインターネットに
接続するには ･･･ 78ページ
ステップ1 接続前の準備 ･･･････････････ 79ページ
ステップ2 接続に必要なソフトウェア ･･･ 80ページ
ステップ3 インターネットを楽しもう ･････ 83ページ

インターネット接続編

# Windows CE で インターネットに接続するには

本製品のハンドヘルド PC への取り付けが終了したら、インターネットに接続してみましょう。





*接続前の準備 ……79ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約

・ハンドヘルド PC、本製品、電話回線の準備

*接続に必要なソフトウェア……80ページ*

インターネットに接続するために必要なソフトウェアについて説明します。

・リモートネットワーク

*インターネットを楽しもう……83ページ*

【ステップ2】で設定した［リモートネットワーク］で実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1：プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、ハンドヘルド PC からインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

ハンドヘルド PC にインターネット接続するための設定をする際（次ページ【ステップ2】）、また、インターネットに接続する際（【ステップ3】83 ページ）に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス（プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー）は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2：ハンドヘルド PC、本製品、電話回線の準備

ハンドヘルド PC、本製品、電話回線（モジュラージャック）があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック：電話回線と本製品の接続

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続に必要なソフトウェア

インターネット接続を行うには、ハンドヘルド PC からプロバイダなどにダイヤルアップするためのソフトウェア[リモートネットワーク]を設定する必要があります。
以下の手順で設定してください。

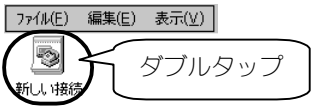


参考

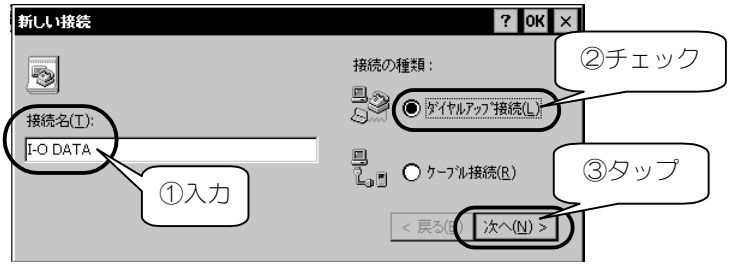
**ダイヤルアップとは**
**→電話回線などの公衆網を利用して、インターネットに接続できる通信業者(プロバイダ)に接続すること。**

**1** [スタート]→[プログラム]→[通信]を開き、
[リモートネットワーク]アイコンをダブルタップします。

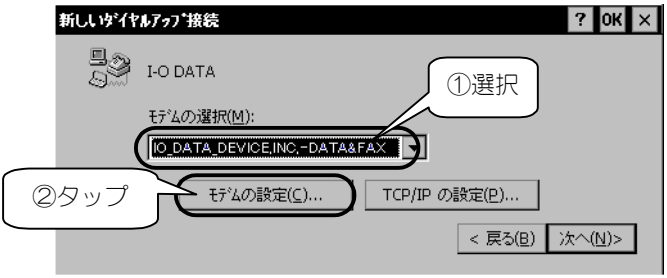
**2** [新しい接続]アイコンを
ダブルタップします。




**3** 任意の接続名(お好きな名前)を入力し、
[ダイヤルアップ接続]をチェック後、[次へ]ボタンをタップします。



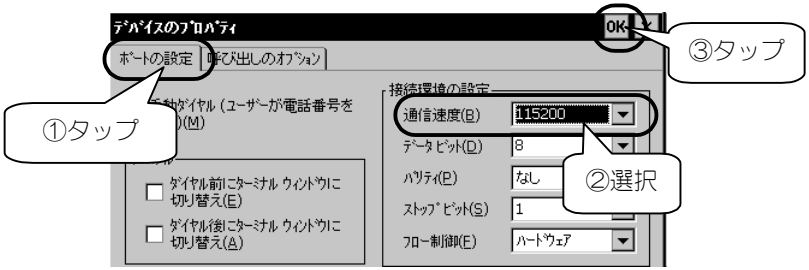
**4** [モデムの選択]で[IO_DATA_DEVICE,INC,-DATA&FAX_MO]（全ての文字が見えない場合があります）を選択し、[モデムの設定]ボタンをタップします。



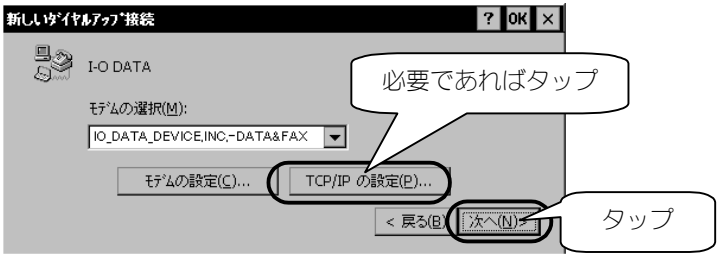

注意

**[モデムの選択]に[IO_DATA_DEVICE,INC,-DATA&FAX_MO]が現れない場合は、Windows CE をいったん終了し、本製品の接続を確認の上、ハンドヘルド PC 本体のリセットスイッチを押してリセットしてください。**

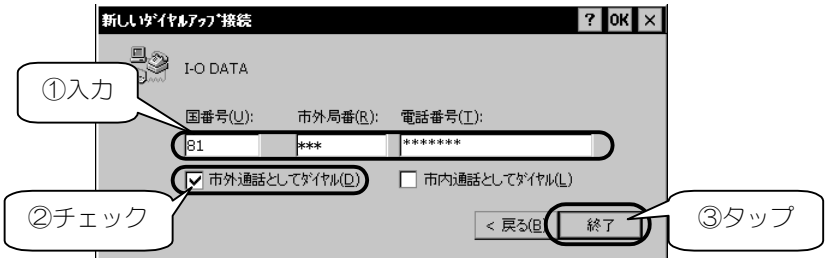
**5** [ポートの設定]タブをタップし、[通信速度]欄で[115200]を選択して、ウィンドウ右上の[OK]ボタンをタップします。



**6** プロバイダからの指定がある場合は、
[TCP/IP の設定]ボタンをタップして設定してください。
設定が不要または終了したら、[次へ]ボタンをタップします。




**7** 接続先のプロバイダの電話番号（国番号は81）を入力し、
[市外通話としてダイヤル]をチェックして、
[終了]ボタンをタップします。




**8** 作成した接続のアイコンが表示されます。




これでリモートネットワークの設定は終了です。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

ステップ
3

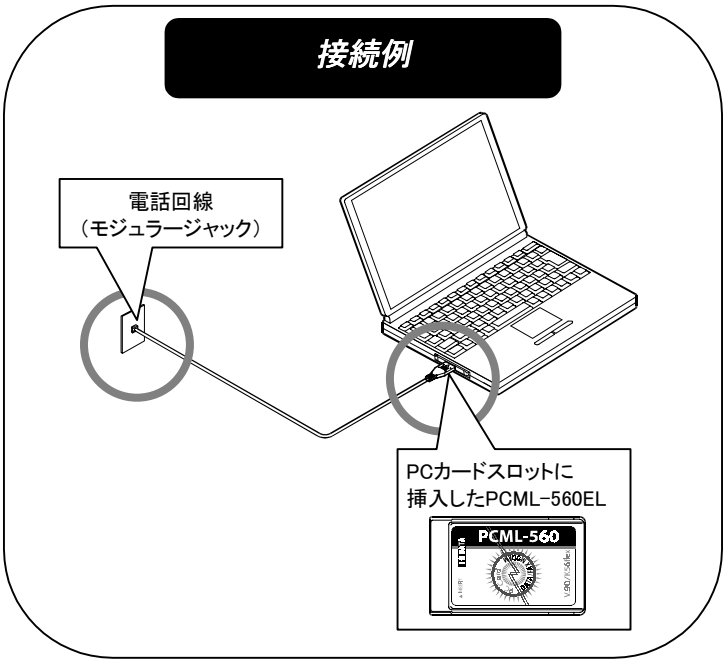
インターネット接続編

# インターネットを楽しもう

ここまでの設定がすべて終了すれば、いよいよインターネットへの接続です。

## 接続する際のチェック項目

インターネットに接続する際は、毎回以下を確認してから、本製品をハンドヘルド PC に取り付け、インターネットに接続してください。




*チェック：電話回線と本製品の接続*

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

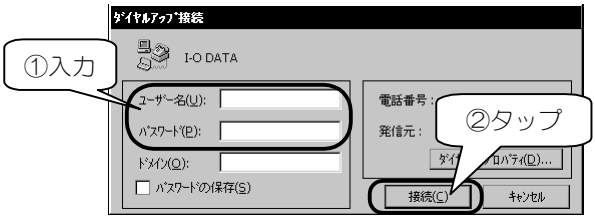
# インターネットに接続する

インターネットへの接続は、【接続に必要なソフトウェア】（80 ページ）で作成した[リモートネットワーク]で行います。

**1** 作成した接続アイコンをダブルタップします。




**2** プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[接続]ボタンをタップします。




注意

**・パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
**・[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

**3** インターネットに接続されます。

画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが追加され、ダブルタップすると接続状況を確認できます。




**4** ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[接続インジケータ]が表示されています。

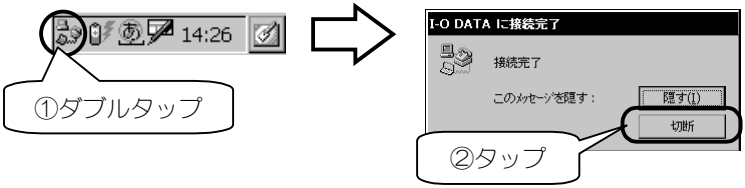
# インターネットを終了する

インターネットを終了する場合は、ブラウザや電子メールを終了するだけでなく、必ず以下の手順を行ってください。

注意

**ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。**
**必ず以下の[切断]ボタンをタップしてください。**
**タップ後、[接続インジケータ]が消えることを必ず確認してください。**

*1* インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]アイコンをダブルタップし、[切断]ボタンをタップします。
これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。




以上で、インターネットは終了できました。

MEMO

# 6 Mac OS でのインターネット

※USB-PM560 は Mac OS には対応しておりません。

Mac OS でインターネットに
接続するには ･･･ 88ページ
ステップ1 接続前の準備 ･･･････････････ 89ページ
ステップ2 接続するための手順 ･･･････ 90ページ
［インターネット接続アシスタント］
での接続 ･････ 92ページ
［PPP ダイアラ］での接続 ･･･････････････ 100ページ

インターネット接続編

# Mac OS で インターネットに接続するには

別冊【*インストール編*】の設定をすべて終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。

**ステップ 1**

***接続前の準備*** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89ページ

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・パソコン、本製品、電話回線の準備

↓

**ステップ 2**

***接続するための手順*** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90ページ

Mac OS でインターネットに接続する２つの方法について説明します。

↓

***インターネット接続***

実際にインターネットに接続する手順について説明します。
接続には、以下の２つの方法があります。

***・接続方法1：[インターネット接続アシスタント]での接続*** ・・・・・・・・・92ページ

***・接続方法2：[PPP ダイアラ]での接続*** ・・・・・・・・・・・・ 100ページ

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイアルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際、また、インターネットに接続する際に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー)は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2:パソコン、本製品、電話回線の準備

パソコン、本製品、電話回線(モジュラージャック)があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック:電話回線と本製品の接続

電話回線(モジュラージャック)と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続するための手順

インターネットに接続するには、以下の２通りの方法があります。

### *接続方法１:[インターネット接続アシスタント]での接続*

[インターネット接続アシスタント]を使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

### *接続方法２:[PPP ダイアラ]での接続*

「TCP/IP プロトコル」（本書例は「Open Transport」）および「PPP ダイアラ」を使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行います。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

**[インターネット接続アシスタント]での手順の方が楽に設定できますが、、お使いのパソコンの OS によって、パソコンに[インターネット接続アシスタント]がある場合と、ない場合があります。**
**次ページの手順で確認してください。**

# 接続手順を確認する

インターネットへ接続するためには、パソコン本体に[インターネット接続アシスタント]があるかどうかによって手順が異なります。
以下の手順で確認してください。

## 1 アップルメニューから[インターネットアクセス]をクリックし、メニュー内に[インターネット接続アシスタント]があるかどうかを確認します。

（Mac OS 9.0 の場合は、起動ディスク(例えば Macintosh HD)→[インターネット]フォルダに[インターネット接続アシスタント]アイコンがあるかを確認してください。）

※確認後は、メニューを閉じてください。




*[インターネット接続アシスタント]が……*

ある場合は… → 次ページ【[インターネット接続アシスタント]での接続】へ進んでください。

ない場合は… → 【[PPP ダイアラ]での接続】(100 ページ)へ進んでください。

インターネット接続編

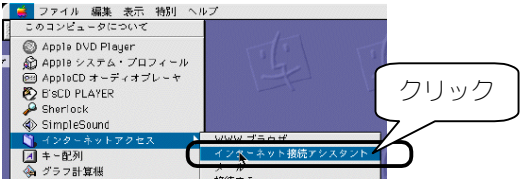
# [インターネット接続アシスタント]での接続

ここでは、Mac OS の[インターネット接続アシスタント]でのインターネット接続手順について説明します。

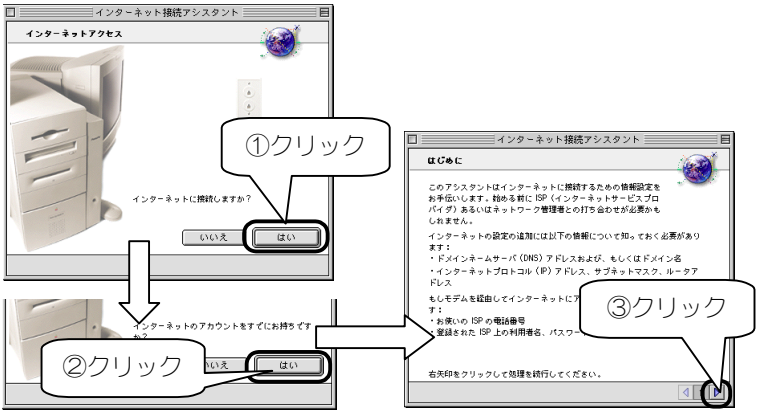
## 接続のための設定

**1** アップルメニューから、[インターネットアクセス]→[インターネット接続アシスタント]を起動します。

Mac OS 9.0の場合は、起動ディスク(例えばMacintosh HD)→[インターネット]フォルダ→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックして起動します。



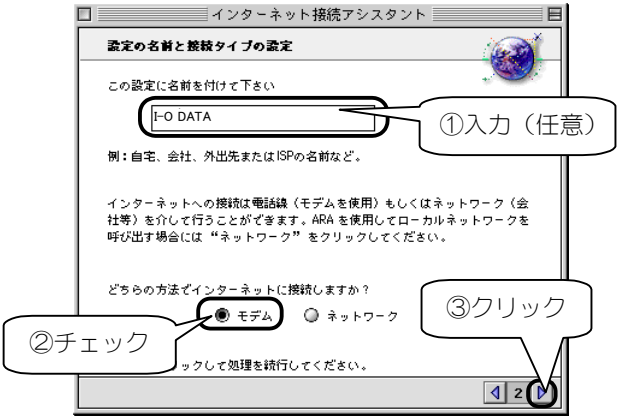

**2** [はい]ボタンをクリックして処理を進め、[はじめに]が表示されたら、内容を確認して、[ ▶ ]ボタンをクリックします。




「情報がないか不適切」と表示された場合は…

【困ったときには】の 136 ページをご参照ください。

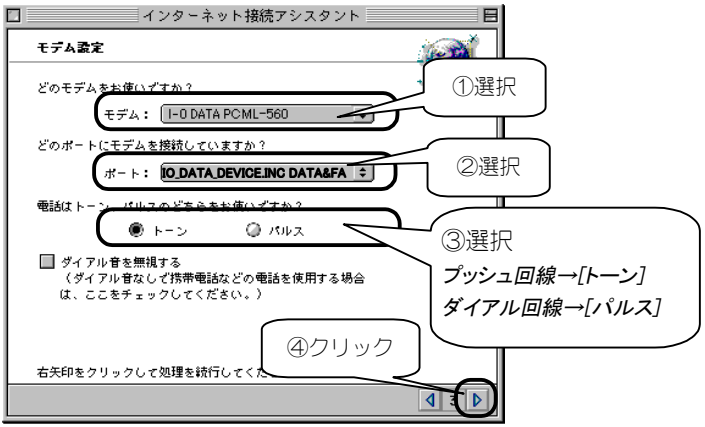
**3** [設定の名称と接続タイプの設定]を以下のように設定し、
[ ▶ ]ボタンをクリックします。




**4** [モデム設定]を以下のように設定し、
[ ▶ ]ボタンをクリックします。

**・PCML-560EL の場合**

| | | |
|---|---|---|
| ① | モデム | [I-O DATA PCML-560]を選択します。 |
| ② | ポート | [IO_DATA_DEVICE.INC DATA&FAX…]を選択します。 |
| ③ | [トーン][パルス] | 電話回線に<br>・プッシュ回線をお使いの場合　→　[トーン]<br>・ダイアル回線をお使いの場合　→　[パルス] |

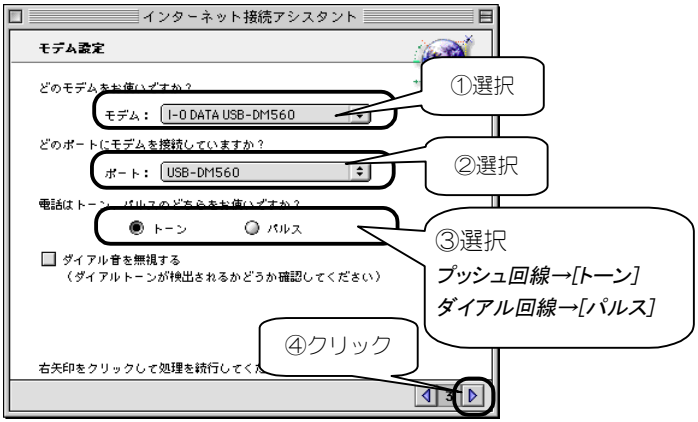


[モデム]に[I-O DATA PCML-560]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

## ・*USB-DM560 を Mac OS 8.5.1、8.6 でお使いの場合*

| | | |
|---|---|---|
| ① | モデム | [I-O DATA USB-DM560]を選択します。 |
| ② | ポート | [USB-DM560]を選択します。 |
| ③ | [トーン][パルス] | 電話回線に<br>・プッシュ回線をお使いの場合 → [トーン]<br>・ダイアル回線をお使いの場合 → [パルス] |




[モデム]に[I-O DATA USB-DM560]が表示されない場合は…

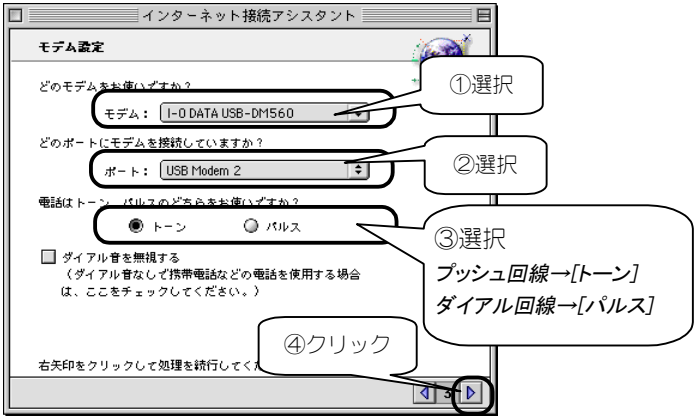
【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

[ポート]に[USB-DM560]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

## ・USB-DM560 を Mac OS 9.0、9.0.4、9.1 でお使いの場合

| | | |
|---|---|---|
| ① | モデム | [I-O DATA USB-DM560]を選択します。 |
| ② | ポート | [USB Modem xx] と表示されます。<br>(xx には数字が表示されます。数字はお使いのパソコンにより異なります。) |
| ③ | [トーン][パルス] | 電話回線に<br>・プッシュ回線をお使いの場合 → [トーン]<br>・ダイアル回線をお使いの場合 → [パルス] |




［モデム］に［I-O DATA USB-DM560］が表示されない場合は…

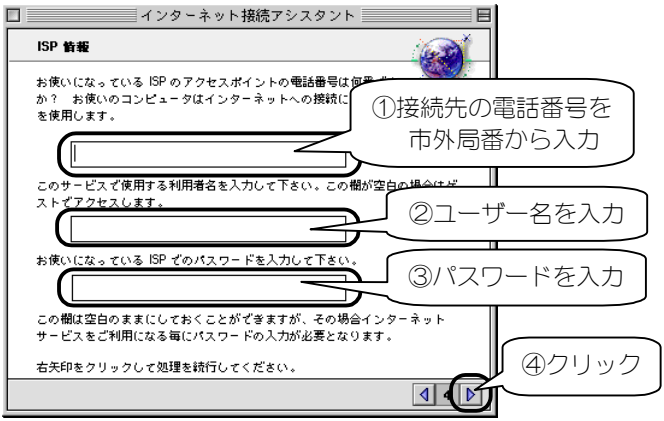
【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

［ポート］に［USB Modem xx］が表示されない場合は…

【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

**5** [ISP情報](プロバイダからの通知情報)を以下のように設定し、[ ► ]ボタンをクリックします。

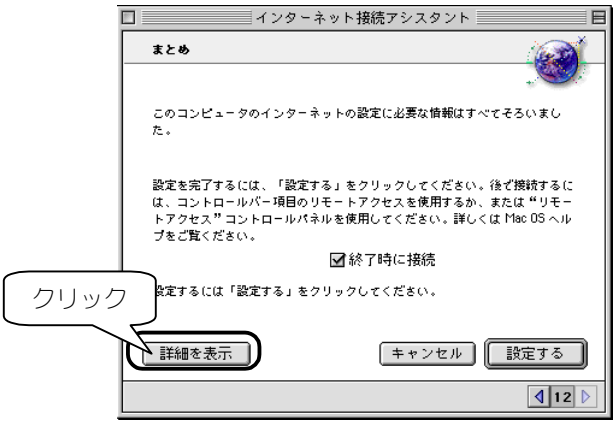
入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。




**6** 後は画面の指示にしたがって、適切な内容を設定してから、[ ► ]ボタンをクリックして、処理を進めてください。

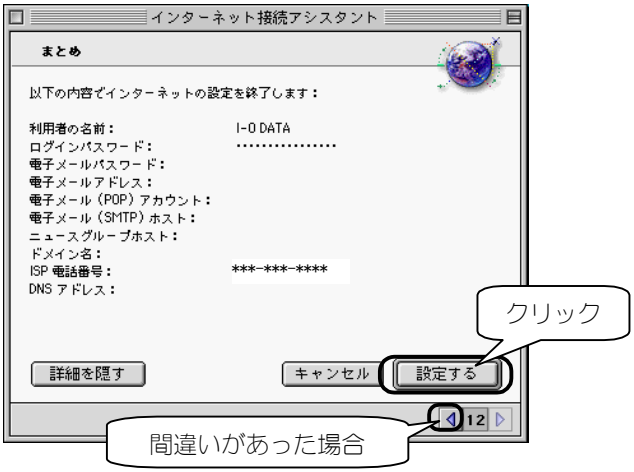
入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

**7** 以下の画面が表示されたら、[詳細を表示]ボタンをクリックします。



**8** 以下の画面が表示されたら、設定した内容を確認後、[設定する]ボタンをクリックします。

内容に間違いがあった場合は、[ ◀ ]ボタンをクリックして、必要な設定画面に戻り、内容を修正してください。




これで、インターネット接続の準備は完了しました。

*7* の手順の画面で[終了時に接続]がチェックされているので、この後は、自動的に接続画面が表示されます。次ページ*2* の手順へ進んでください。

なお、次回接続時からは次ページ*1* の手順から始めてください。

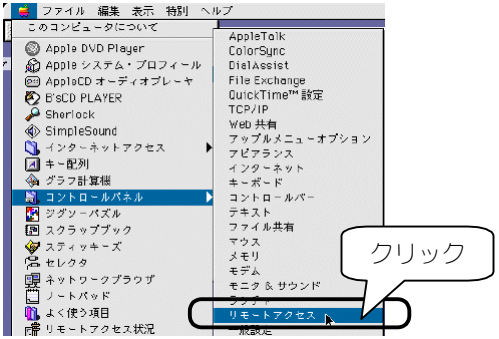
**参考**

**ここで設定した内容を、後で見直したい場合は、[[PPP ダイアラ]での接続](100 ページ)の手順を参照してください。**

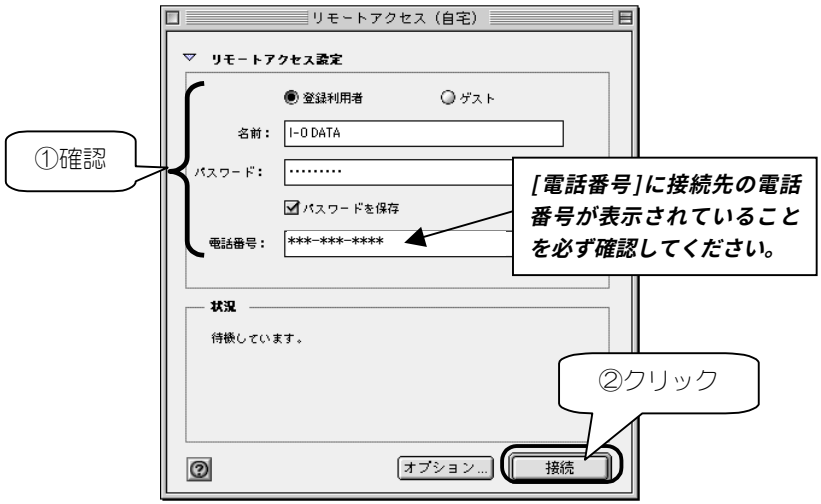
# インターネットを楽しもう

前ページの設定から引き続き行っているときは、以下の**2** の手順から始まります。

**1** アップルメニューから[コントロールパネル]→[リモートアクセス]を起動します。




**2** 内容を確認して、[接続]ボタンをクリックします。



**3** 状況欄に下記のように表示されたら、接続完了です。

表示される速度は環境により異なります。

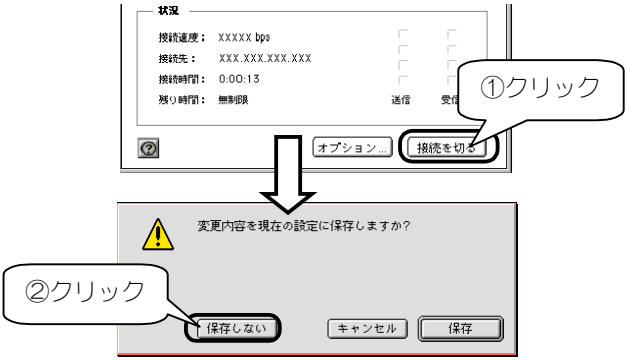



状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される場合は…

【困ったときには】の 134 ページをご参照ください。

**4** ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

**5** インターネット利用が終わったら、[接続を切る]ボタンをクリックします。これで電話回線が切断され、通信が終了します。




注意

**・変更内容とは、前ページ２ の手順の内容です。接続先の電話番号やユーザー名（名前）、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存]ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。**
**・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る]ボタンをクリックし、[状況]が[待機しています。]となることを必ずご確認ください。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

インターネット接続編

# [PPP ダイアラ]での接続

ここでは、Mac OS に[インターネット接続アシスタント]が無い場合のインターネット接続手順（PPP ダイアラでの接続手順）について説明します。



参考

**ここでの設定は、[インターネット接続アシスタント]で行った設定の確認としても参照することができます。**

## 接続のための設定

[インターネット接続アシスタント]が無い場合に、インターネット接続をするためには、下記のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。

- *TCP/IP プロトコル*　（インターネットに必要な通信手順）
- *PPP ダイアラ*　（電話回線を用いてプロバイダにダイアルアップ IP 接続するためのソフトウェア）

ここでは、PPP ダイアラとして[OpenTransportPPP]を例にして説明します。




**・本製品には[TCP/IP プロトコル]および[PPP ダイアラ]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。**
**・TCP/IP プロトコル最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。**

# TCP/IP を設定する

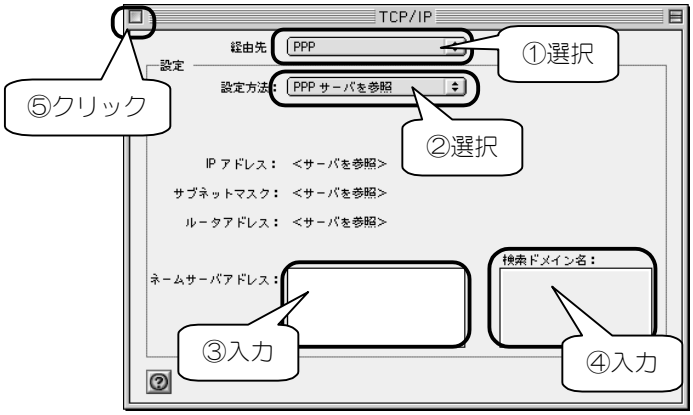
**1** [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。




**2** [TCP/IP 設定]画面が表示されたら以下の各設定を行います。設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 経由先 | プルダウンメニューからご利用になる[PPP]を選択します。 |
| ② | 設定方法 | [PPP サーバーを参照]を選択します。 |
| ③ | ネームサーバアドレス | ご契約したプロバイダから案内されている IP アドレス(DNS アドレス)を入力します。 |
| ④ | 検索ドメイン名 | ご契約したプロバイダから案内されているドメイン(DNS サーバ名称)を入力します。 |

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。




これで TCP/IP プロトコルの設定は終わりです。
引き続き、次ページ【PPP ダイアラを設定する】へ進んでください。

# PPP ダイアラを設定する

ここでは PPP ダイアラとして、OpenTransportPPP を使用する場合の手順を説明します。

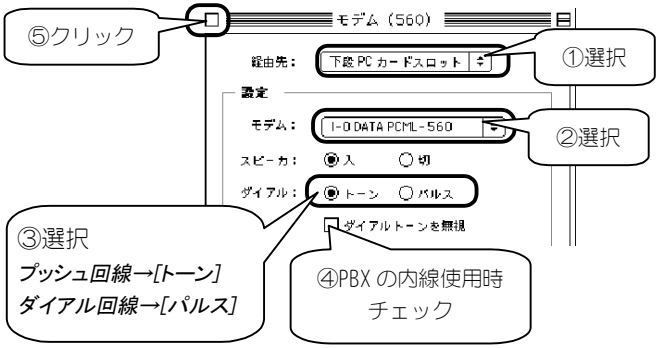
**1** [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[モデム]アイコンをダブルクリックします。

**2** [モデム]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[モデム]画面を閉じます。

### ・PCML-560EL の場合

| | | |
|---|---|---|
| ① | 経由先 | 本製品を接続している PC カードスロットもしくは[PCML-560]または[DATA&FAX Modem PCML-560]を選択します。 |
| ② | モデム | [I-O DATA PCML-560]を選択します。 |
| ③ | ダイアル | 以下を選択します。<br>・プッシュ回線をお使いの場合 → [トーン]<br>・ダイアル回線をお使いの場合 → [パルス] |
| ④ | ダイアルトーンを無視 | チェックボックスには、PBX の内線(0 発信)を使用している場合のみ、チェックしてください。 |

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



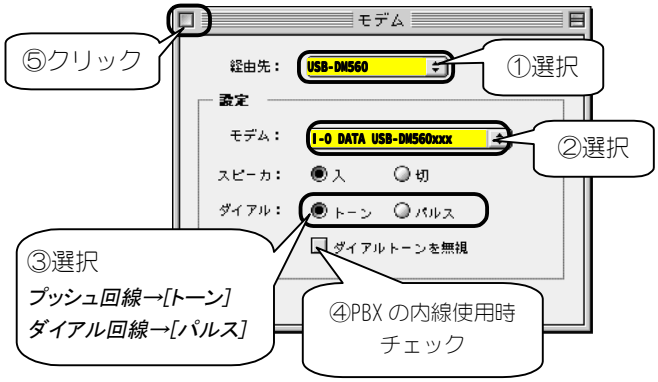

[モデム]欄に[I-O DATA PCML-560]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

## ・USB-DM560 を Mac OS 8.5.1、8.6 でお使いの場合

| | | |
|---|---|---|
| ① | 経由先 | [USB-DM560]を選択します。 |
| ② | モデム | [I-O DATA USB-DM560xxx]を選択します。 |
| ③ | ダイアル | 電話回線に<br>・プッシュ回線をお使いの場合→[トーン]を選択<br>・ダイアル回線をお使いの場合→[パルス]を選択 |
| ④ | ダイアルトーンを無視 | チェックボックスには、PBX の内線(0 発信)を使用している場合のみ、チェックしてください。 |

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。

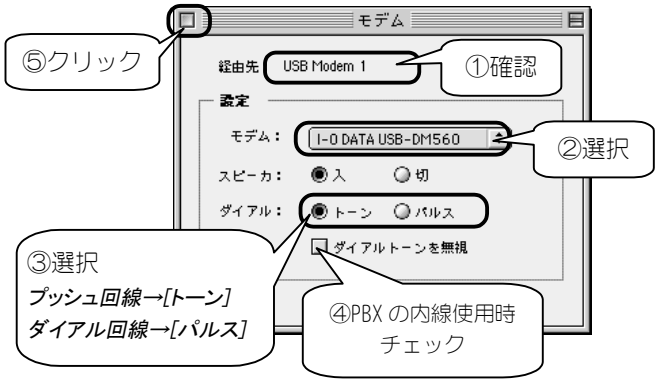



[モデム]に[I-O DATA USB-DM560]が表示されない場合は…

【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

## ・USB-DM560 を Mac OS 9.0、9.0.4、9.1 でお使いの場合

| | |
|---|---|
| 経由先 | [USB Modem xx] と表示されます。<br>(xxには数字が表示されます。数字はお使いのパソコンにより異なります。) |
| モデム | [I-O DATA USB-DM560]を選択します。 |
| ダイアル | 電話回線に<br>・プッシュ回線をお使いの場合→[トーン]を選択<br>・ダイアル回線をお使いの場合→[パルス]を選択 |
| ダイアルトーンを無視 | チェックボックスには、PBXの内線(0発信)を使用している場合のみ、チェックしてください。 |




[経由先]に[USB Modem xx]が表示されない場合は… 【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

[モデム]に[I-O DATA USB-DM560]が表示されない場合は… 【困ったときには】の 137 ページをご参照ください。

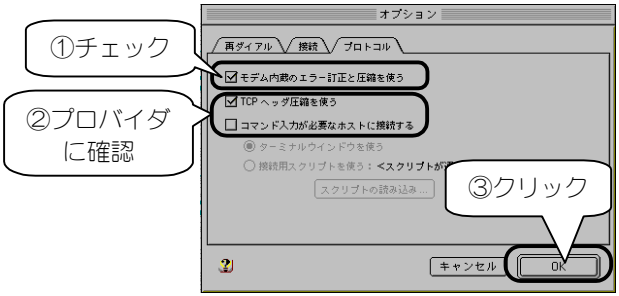
**3** [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[PPP]アイコンをクリックし、[PPP]画面で[オプション]ボタンをクリックします。

**4** 以下の設定を行います。

①[モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使う]にチェックします。

②[TCP ヘッダ圧縮を使う]および[コマンド入力が必要なホストに接続する]のチェックは、各プロバイダに確認してください。

③設定後、[OK]ボタンをクリックします。



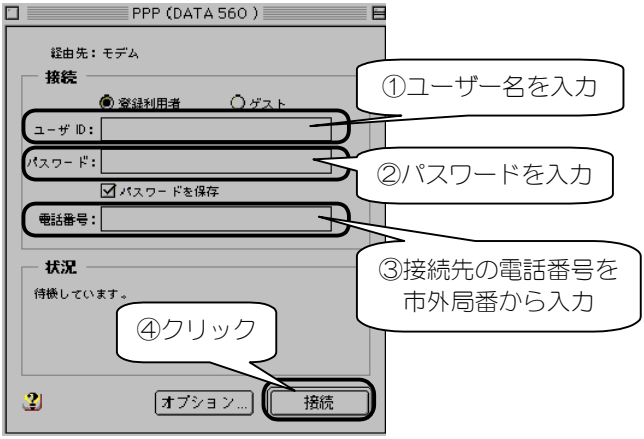

**5** 設定が終わったら、[PPP]画面を閉じます。

これで、インターネット接続の準備は完了しました。
次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

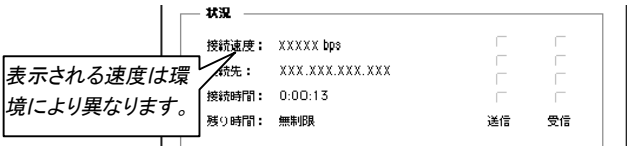
# インターネットを楽しもう

**1** [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[PPP]をクリックします。

**2** ISP情報(プロバイダからの情報)を以下のように設定し、[接続]ボタンをクリックします。




**3** 状況欄に以下のように表示されたら、接続完了です。




状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される場合は…

【困ったときには】の 134 ページをご参照ください。

**4** ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

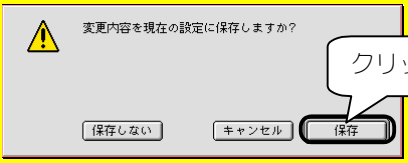
**5** インターネットの使用が終わったら、[解除]ボタン※をクリックします。

これで電話回線が切断され、通信が終了します。

※ご使用のPPPによっては[切断]ボタンや[接続を切る]ボタンなどの場合があります。

注意

**・変更内容とは、前ページ2 の手順の内容です。接続先の電話番号やユーザー名、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存]ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。**




**・ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[解除]ボタンをクリックしてください。[状況]が[待機しています。]となっていることを必ずご確認ください。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

MEMO

# 7 漢字 Talk でのインターネット

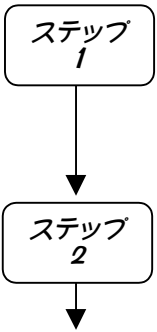
※USB-DM560、USB-PM560 は漢字 Talk には対応しておりません。

漢字 Talk でインターネットに
接続するには・ 110ページ
ステップ1 接続前の準備…… 111ページ
ステップ2 接続するための手順…… 112ページ
[ConfigPPP]での接続 …… 113ページ
[FreePPP]での接続 …… 117ページ

インターネット接続編

# 漢字 Talk で インターネットに接続するには

パソコンへの取り付けが終了したら、いよいよインターネットに接続してみましょう。




*接続前の準備* ····· *111ページ*

インターネットに接続する上で必要な確認事項について説明します。

・プロバイダとの契約
・パソコン、本製品、電話回線の準備

*接続するための手順* ····· *112ページ*

漢字 Talk でインターネットに接続する2つの方法について説明します。

*インターネット接続*

実際にインターネットに接続する手順について説明します。
接続には、以下の2つの方法があります。

・*接続方法1：[ConfigPPP]での接続* ····· *113ページ*

・*接続方法2：[FreePPP]での接続* ····· *117ページ*

ステップ 1

インターネット接続編

# 接続前の準備

インターネットに接続するには、以下をまず準備しておく必要があります。順にチェックしておいてください。

## 準備1:プロバイダとの契約

インターネット・サービスを受けるために、プロバイダとダイアルアップ IP 接続の契約を行ってください。

### 契約時に入手した資料について

プロバイダとの契約後、パソコンからインターネット接続するために以下が記載されている資料を受け取ります。

パソコンにインターネット接続するための設定をする際、また、インターネットに接続する際に必要となりますので、準備しておいてください。

- ユーザー名
- パスワード
- 接続先の電話番号
- ネームサーバーアドレス※
  - プライマリ DNS サーバー
  - セカンダリ DNS サーバー

※ネームサーバーアドレス(プライマリ DNS サーバー、セカンダリ DNS サーバー)は、プロバイダによっては指定がない場合もあります。
指定がない場合は特に設定する必要はありません。

## 準備2:パソコン、本製品、電話回線の準備

パソコン、本製品、電話回線（モジュラージャック）があればインターネットに接続できます。

ただし、以下の確認を行っておいてください。

### チェック:電話回線と本製品の接続

電話回線（モジュラージャック）と本製品が接続されていることを確認してください。

ステップ 2

インターネット接続編

# 接続するための手順

インターネットに接続するには、以下の２通りの方法があります。

## *接続方法１:[ConfigPPP]での接続* → *113ページへ*

[TCP/IP プロトコル]（本書例は[OpenTransport]）と[ConfigPPP]の PPP ダイアラを使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

## *接続方法２:[FreePPP]での接続* → *117ページへ*

[TCP/IP プロトコル]（本書例は[OpenTransport]）と[FreePPP]の PPP ダイアラを使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

注意

**・本製品には[TCP/IP プロトコル]および[PPP ダイアラ]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。**
**・TCP/IP プロトコル最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。**
**・バージョンによっては画面や操作が異なる場合があります。**

参考

**[TCP/IP プロトコル]とはインターネットに必要な通信手順です。**
**[PPP ダイアラ]とは、電話回線を用いてプロバイダにダイアルアップ IP 接続するためのソフトウェアです。本書では、[PPP ダイアラ]として、ConfigPPP と FreePPP を使った手順についてそれぞれ説明しています。**

インターネット接続編

# [ConfigPPP]での接続

ここでは、ConfigPPP でのインターネット接続手順について説明します。

## TCP/IP プロトコル]の設定

最初に TCP/IP の設定を行います。

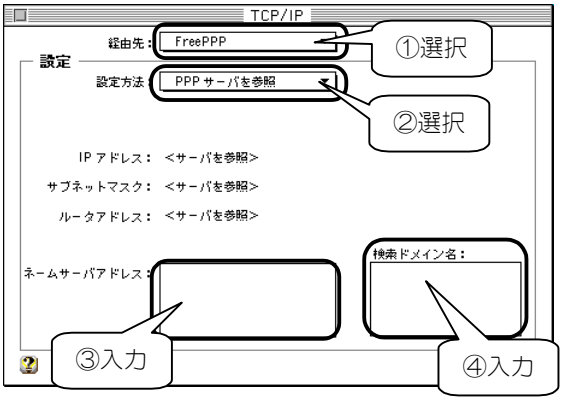
**1** [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。




**2** [TCP/IP]画面で、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 経由先 | プルダウンメニューからご利用になるPPPダイアルの名称を選択します。 |
| ② | 設定方法 | [PPP サーバーを参照]を選択します。 |
| ③ | ネームサーバアドレス | ご契約したプロバイダから案内されているIPアドレス(DNS アドレス)を入力します。 |
| ④ | 検索ドメイン名 | ご契約したプロバイダから案内されているドメイン(DNS サーバ名称)を入力します。 |

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



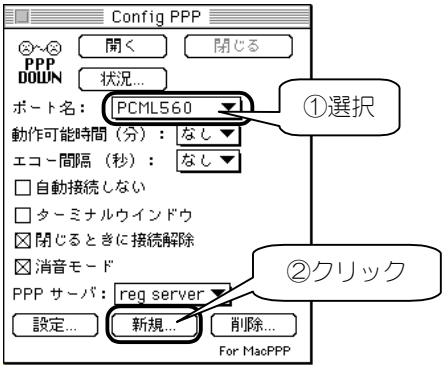

これで TCP/IP プロトコルの設定は終了です。
引き続き、次ページの【ConfigPPP の設定】へ進んでください。

# ConfigPPP の設定

ここでは、PPP ダイアラとして、ConfigPPP を使用する場合の手順を説明します。

***1*** [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[ConfigPPP]アイコンをダブルクリックします。

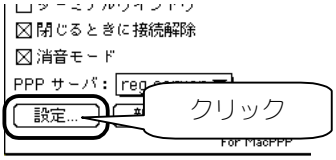
***2*** [ポート名 :]に[PCML-560]を選択し、[新規]ボタンをクリックします。




***3*** [PPPサーバ名 :]に、接続先のプロバイダ名などを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

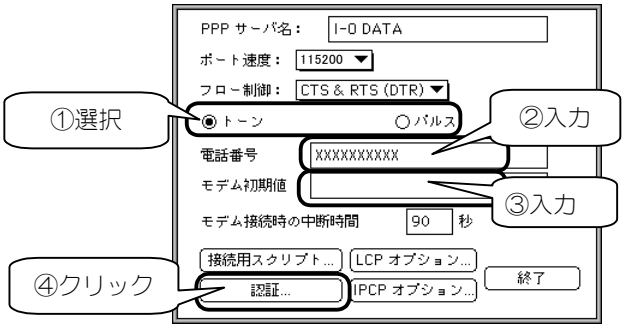



***4*** ***2*** の手順の画面に戻りますので、[設定]ボタンをクリックします。

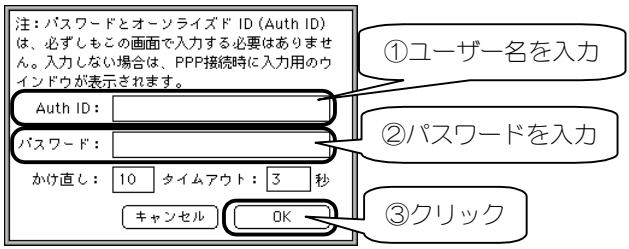


**5** 以下の内容を設定し、[認証]ボタンをクリックします。

| | | |
|---|---|---|
| ① | [トーン][パルス] | プッシュ回線をお使いの場合　→ [トーン]<br>パルス回線をお使いの場合　→ [パルス] |
| ② | 電話番号 | プロバイダのアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。 |
| ③ | モデム初期値 | 以下の文字列を半角で入力します。<br>・プッシュ回線使用時　AT&F&WX1<br>・ダイアル回線(10)使用時　AT&F&WX1&P1<br>・ダイアル回線(20)使用時　AT&F&WX1&P3 |




**6** ISP情報(プロバイダからの通知情報)を以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。



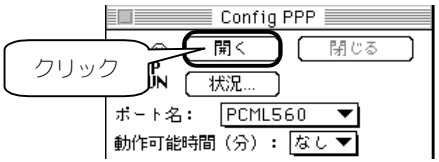

**7** **5** の手順の画面に戻りますので、[終了]ボタンをクリックします。

これで ConfigPPP の設定は終了しました。
【インターネットを楽しもう】(次ページ)を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

# インターネットを楽しもう

***1*** [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]の
[Config PPP]または[FreePPP]をダブルクリックします。

***2*** [開く]または[接続]ボタンをクリックします。
プロバイダへ接続し、インターネットが利用できるようになります。
接続できないときは、[状況]ボタンをクリックしてみてください。




***3*** 接続が終わったら、
[閉じる]または[解除]ボタンをクリックします。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

インターネット接続編

# [FreePPP]での接続

ここでは、FreePPP でのインターネット接続手順について説明します。

## TCP/IP プロトコル]の設定

最初に TCP/IP の設定を行います。

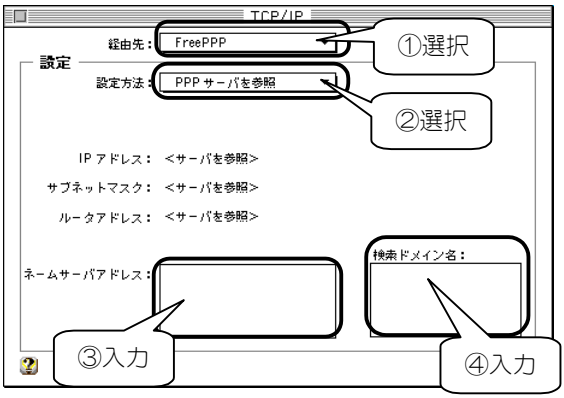
**1** [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。




**2** [TCP/IP]画面で、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 経由先 | プルダウンメニューからご利用になるPPPダイアラの名称を選択します。 |
| ② | 設定方法 | [PPP サーバーを参照]を選択します。 |
| ③ | ネームサーバアドレス | ご契約したプロバイダから案内されているIPアドレス(DNS アドレス)を入力します。 |
| ④ | 検索ドメイン名 | ご契約したプロバイダから案内されているドメイン(DNS サーバ名称)を入力します。 |

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。




これで TCP/IP プロトコルの設定は終了です。
引き続き、次ページ【FreePPP の設定】へ進んでください。

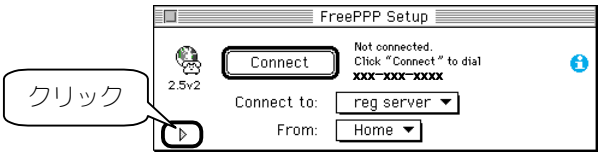
# FreePPP の設定

ここでは、PPP ダイアラとして、FreePPP を使用する場合の手順を説明します。

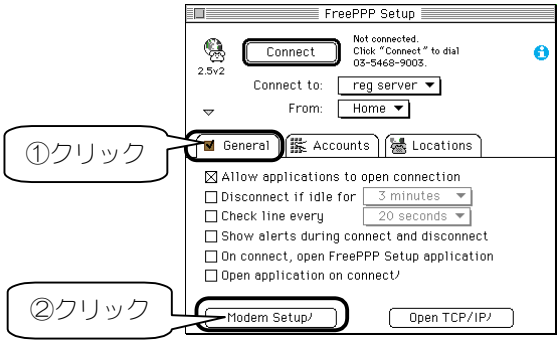
**1** メニューバーの電話のアイコンをプレス(マウスのボタンを押し続ける)し、[Open FreePPP Setup]を選択します。
（電話のアイコンが無い場合は、FreePPPインストール先の[Open FreePPP Setup]をダブルクリックします。）




**2** [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダの[FreePPP]をダブルクリックし、画面左下にある小さな三角のボタンをクリックします。

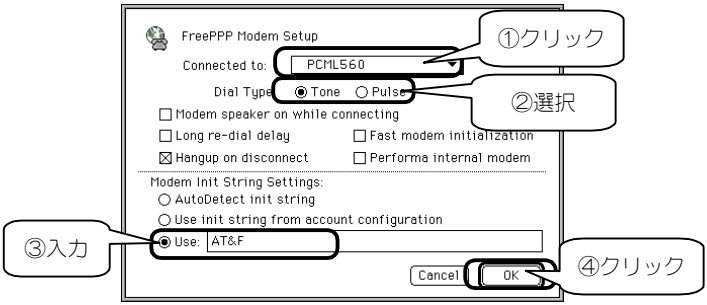



**3** [General]タブをクリックし、
[Modem Setup]ボタンをクリックします。

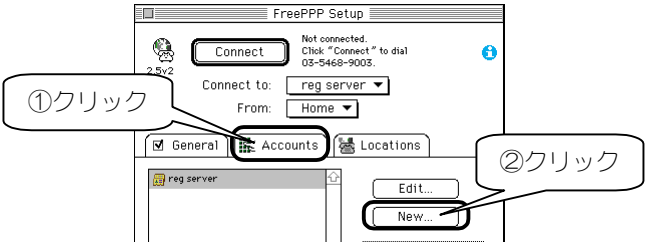


## 4 以下の内容を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

| | | |
|---|---|---|
| ① | Connected to | [PCML560]を選択します。 |
| ② | Dial Type | 電話回線に<br>・プッシュ回線をお使いの場合→[Tone]を選択<br>・ダイアル回線をお使いの場合→[Pulse]を選択 |
| ③ | Modem Init String Settings | 以下の文字列を半角で入力します。<br>・プッシュ回線使用時　AT&F&WX1<br>・ダイアル回線(10)使用時　AT&F&WX1&P1<br>・ダイアル回線(20)使用時　AT&F&WX1&P3 |

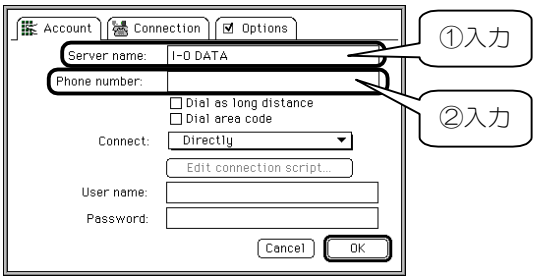



## 5 *3* の手順の画面に戻りますので、[Accounts]タブをクリックし、[New]ボタンをクリックします。



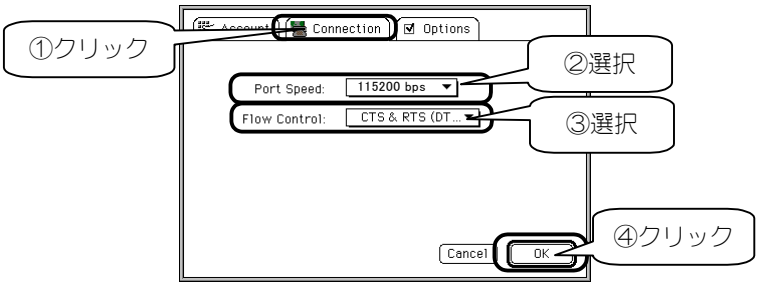
## 6 以下の内容を入力します。

| | | |
|---|---|---|
| ① | Server name | プロバイダの名称などを入力します。 |
| ② | Phone number | プロバイダのアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。 |

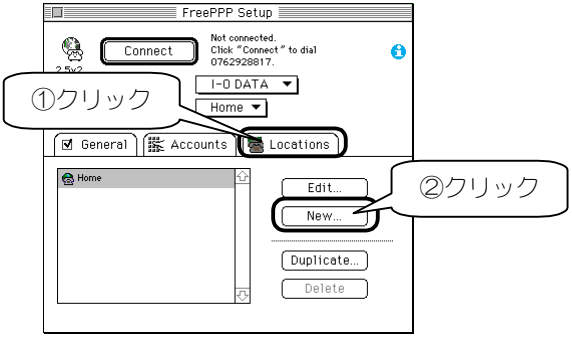



## 7 [Connection]タブをクリックして以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

| | | |
|---|---|---|
| ② | Port Speed | [115200]を選択します。 |
| ③ | Flow Control | [CTS&RTS(DT…]を選択します。 |

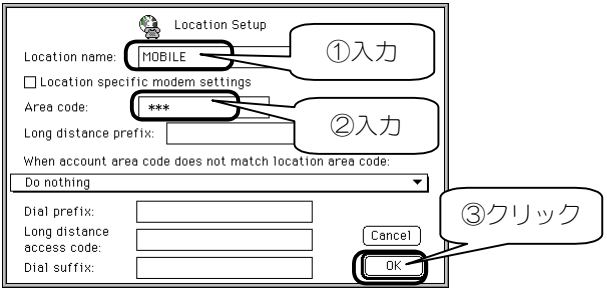


**8** 3 の手順の画面に戻りますので、
[Locations]タブをクリックし、[New]ボタンをクリックします。




**9** 以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

| | | |
|---|---|---|
| ① | Location name | 任意の登録名を入力 |
| ② | Area code | 所在地の市外局番を入力 |




**10** 3 の手順の画面に戻りますので、
画面左上のクローズボタンをクリックします。

これで ConfigPPP の設定は終了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットに接続してみましょう。

# インターネットを楽しもう

**1** メニューバーの電話のアイコンをプレス（マウスのボタンを押し続ける）し、[Open PPP Connection]を選択します。




**2** 接続が終わったら、電話のアイコンメニューから
[Close PPP Connection]を選択します。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

# 付録1

# 困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

**困ったときには（もくじ）**

## ・インターネット接続時のトラブル（Windows 編）


| 状態 | 参照頁 |
|---|---|
| [*回線が使用中です*]と表示された | 125 |
| [*発信音が聞こえません*]と表示された | |
| [*ダイヤル先のコンピュータが応答しません*]と表示された | 126 |
| [*ダイヤル先のコンピュータから切断されました*]と表示された | 127 |
| 接続動作はするようだが、[ダイヤルアップ接続モニタ]や[接続インジケータ]が表示されない | |
| V.90 または K56flex 対応プロバイダなどとの通信中に回線が切れる | |
| 50000bps 以上で通信できない | 128 |
| [ダイヤルアップネットワーク]が表示されない（Windows Me/98/95） | 129 |
| [ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない（Windows Me/98/95） | 131 |

## ・インターネット接続時のトラブル（Macintosh 編）

| 状態 | 参照頁 |
|---|---|
| [状況]欄に[この電話番号は話し中です]と表示された | 134 |
| [利用者として認証されませんでした]と表示された | |
| [お使いのモデムが正しく応答しません]と表示された | 135 |
| [情報がないか不適切]と表示された | 136 |
| [搬送波が検出されませんでした]と表示された | |
| （PCML-560EL）<br>[モデム]欄に[I-O DATA PCML-560]と表示されない | 137 |
| （USB-DM560）<br>[モデム]欄に[I-O DATA USB-DM560]と表示されない | |
| （USB-DM560）<br>[ポート]（[経由先]）欄に[USB-DM560]または[USB Modem xx]と表示されない | |
| V.90 または K56flex 対応プロバイダなどとの通信中に回線が切れる | 138 |
| 50000bps 以上で通信できない | |

## ・その他のトラブル

| 状態 | 参照頁 |
|---|---|
| 通信ソフトが起動できない | 139 |
| AT コマンドを使用して通信できない | |

# インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

## [回線が使用中です]と表示された

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続先のアクセスポイントが混雑している。 |
| 対処 | [OK]ボタンをクリックし、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。<br>時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。 |

## [発信音が聞こえません]と表示された

| | |
|---|---|
| 原因1 | 本製品やモジュラーケーブルが、正しく接続されていない。 |
| 対処 | [OK]ボタンをクリックし、本製品やモジュラーケーブルが接続されているかを再度確認してみてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | 正しくインストールされていない。 |
| 対処 | 別冊【インストール編】の【インストールしたソフトを削除するには】を実行し、一度サポートソフトを削除します。<br>その後、別冊【インストール編】の各 OS の【インストールする】の個所を参照して、インストールをやり直してください。 |

## [ダイヤル先のコンピュータが応答しません]と表示された

| 原因1 | 接続先の電話番号が違っている。 |
|---|---|
| 対処 | [OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。<br>接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。<br>※プロバイダに接続先の電話番号を確認してください。 |

| 原因2 | 接続先のアクセスポイントが混雑している。 |
|---|---|
| 対処 | [OK]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。<br>時間をおいてもう1度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。 |

| 原因3 | 正しくインストールされていない。 |
|---|---|
| 対処 | 別冊【インストール編】の【インストールしたソフトを削除するには】を実行し、一度サポートソフトを削除します。<br>その後、別冊【インストール編】の各 OS の【インストールする】の個所を参照して、インストールをやり直してください。 |

## ［ダイヤル先のコンピュータから切断されました］と表示された

| 原因1 | 接続先の電話番号が違っている。 |
|---|---|
| 対処 | ［OK］ボタンを押し、接続画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンを押します。<br>接続アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。 |

| 原因2 | パソコンに本製品が正しく接続されていない。 |
|---|---|
| 対処 | ［OK］ボタンをクリックし、以下を確認してください。<br>・*PCML-560EL の場合*<br>パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。最後まで挿入するピポッと音がします。<br>また画面右下のタスクバーに［PC カード］アイコンが表示されます。<br>・*USB-DM560、USB-PM560 の場合*<br>パソコンのUSBコネクタにUSBケーブルがに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。 |

## 接続動作はするようだが、［ダイヤルアップ接続モニタ］や［接続インジケータ］が表示されない

| 原因 | 接続先の電話番号が違っている。 |
|---|---|
| 対処 | 接続画面で、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。<br>※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。 |

## V.90 または K56flex 対応プロバイダなどとの通信中に回線が切れる

| 原因 | 電話回線の状況・品質が悪い。 |
|---|---|
| 対処 | 【付録2】(140 ページ)を参照して、接続速度の上限を下げてみてください。電話回線の状況・品質によっては接続速度を下げた方がパフォーマンスが上がる場合もあります。 |

## 50000bps 以上で通信できない

| | |
|---|---|
| 原因1 | 回線状況により、設定回線速度(特に 50000bps 以上)より低い速度で接続する場合があります。 |
| 対処 | 接続プロバイダが V.90 および K56flex に対応しているか確認してください。<br>V.90 および K56flex に対応していない場合は、最高 33600bps となります。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | PBX(構内交換機)の回線を利用している（内線(0 発信)など）場合は、<br>V.90 および K56flex の本来の性能がでません。 |
| 対処 | 電話回線経由でご利用ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因3 | 中継コネクタを使用して、モジュラーケーブルを延長されていると、<br>低い速度で接続する場合があります。 |
| 対処 | モジュラーケーブルをできる限り短くしてご利用ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因4 | 分配した回線に接続していると、低い速度で接続する場合があります。 |
| 対処 | 分配していない回線に接続してご利用ください。 |

# [ダイヤルアップネットワーク]が表示されない（Windows Me/98/95）

| | |
|---|---|
| 原因 | ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。 |
| 対処 | 以下の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。 |

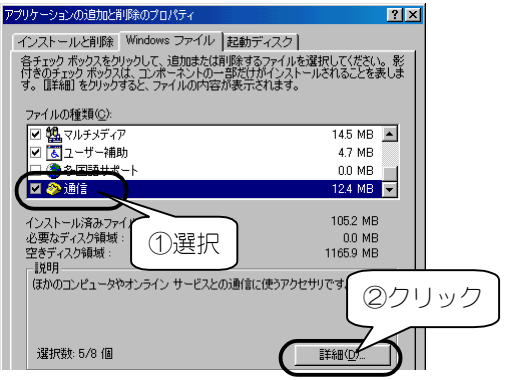
## ■ダイヤルアップネットワークのインストール手順

**1** [アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

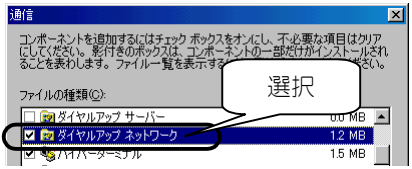
**2** [Windowsファイル]タブをクリックします。
表示が切り替わるまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。




**3** [通信]を選択し、[詳細]ボタンをクリックします。

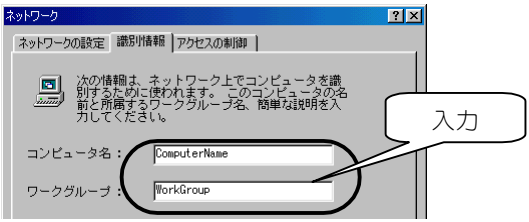


**4** [ダイヤルアップネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。




**5** *3* の手順の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。
Windows の CD-ROM を用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

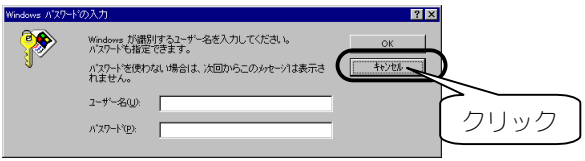
**6** 以下の画面になったら、[コンピュータ名]と[ワークグループ]名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください（[コンピュータの説明]は省略可）。




**7** [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。




**8** Windows が再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。



# [ダイヤルアップアダプタ]や[TCP/IP]が表示されない（Windows Me/98/95）

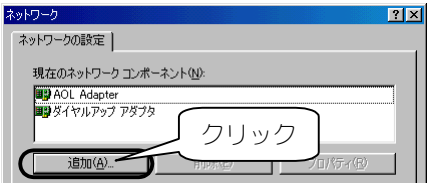
| | |
|---|---|
| 原因 | TCP/IP がインストールされていない。 |
| 対処 | 以下の手順で TCP/IP をインストールします。 |

## ■[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]の両方の表示が無い場合のインストール手順

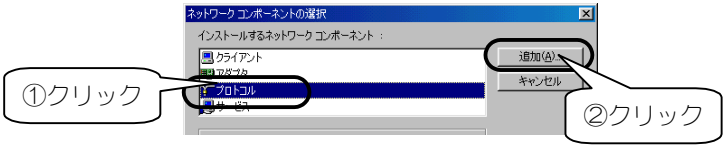
以下の手順で[TCP/IP]をインストールすることによって、両方とも（[ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]）がインストールされます。

**1** [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

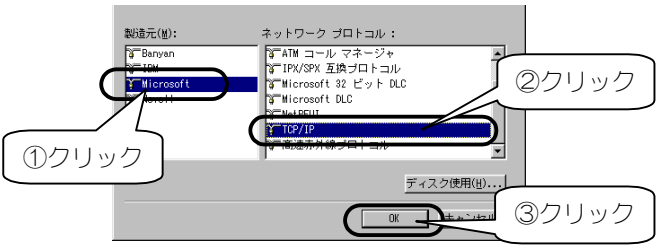
**2** [追加]ボタンをクリックします。



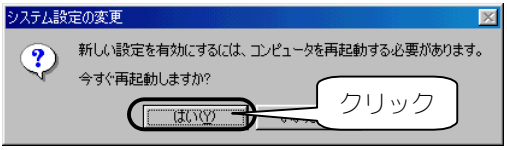

**3** [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。




**4** [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



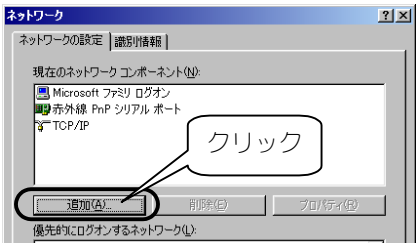
**5** [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



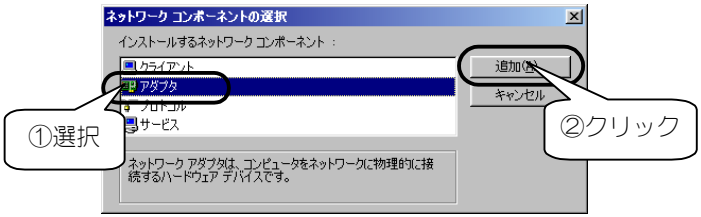

## ■[ダイヤルアップアダプタ]のみ表示が無い場合のインストール手順

**1** [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

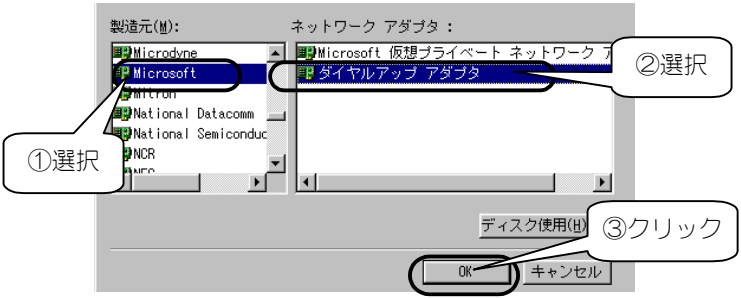
**2** [追加]ボタンをクリックします。



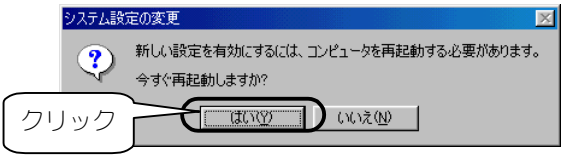

**3** [アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



**4** [Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。




**5** [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



# インターネット接続時のトラブル（Macintosh 編）

## 状況欄に[この電話番号は話し中です]と表示された

| | |
|---|---|
| 原因1 | 接続先の電話番号が違っている。 |
| 対処 | [OK]ボタンをクリックして、接続画面が表示されたら、正しい電話番号を（市外局番を含めて）確認してください。<br>※正しい電話番号は、プロバイダに確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | 接続先のアクセスポイントが混雑している。 |
| 対処 | 時間をおいてから、再度[接続]ボタンをクリックするか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を入力してから[接続]ボタンをクリックしてください。 |

## [利用者として認証されませんでした]と表示された

| | |
|---|---|
| 原因 | ユーザー名やパスワードが違っている。 |
| 対処 | [OK]ボタンをクリックしてください。アルファベットの大文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。正しく入力してもこの画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。 |

## [お使いのモデムが正しく応答しません]と表示された

| 原因1 | パソコンに本製品が正しく接続されていない。 |
|---|---|
| 対処 | [OK]ボタンをクリックし、以下を確認してください。<br>・PCML-560ELの場合<br>パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。最後まで挿入するピポッと音がします。<br>また画面右下のタスクバーに[PC カード]アイコンが表示されます。<br>・USB-DM560、USB-PM560 の場合<br>パソコンのUSBコネクタにUSBケーブルがに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。 |

| 原因2 | ダイアラでの設定が正しく行われていない。 |
|---|---|
| 対処 | ・Mac OSの場合<br>[モデム]や[経由先]の選択が正しく行われているか、確認してください。（93～95ページおよび102～104ページ参照）<br>・漢字Talkの場合<br>[経由先]が正しく設定されているか、また、ご利用の方法にあった初期化コマンドが設定されているかどうかを確認してください。（113～115ページおよび117～119ページ参照） |

## [情報がないか不適切]と表示された

| | |
|---|---|
| 原因 | 接続に必要なソフトウェア「リモートアクセス」がインストールされていない。 |
| **対処** | 画面を閉じると、[本当に終了してよろしいですか]と表示されるので、[終了]ボタンをクリックします。<br>以下の操作を行って「リモートアクセス」をインストールしてください。 |

**1** アップルメニューから[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]を開きます。

**2** 「リモートアクセス」に[×]印をつけて、[再起動]ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。




## [搬送波が検出されませんでした]と表示された

| | |
|---|---|
| 原因1 | パソコンに本製品が正しく接続されていない。 |
| **対処** | [OK]ボタンをクリックし、以下を確認してください。<br>・*PCML-560ELの場合*<br>パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。最後まで挿入するピポッと音がします。<br>また画面右下のタスクバーに[PC カード]アイコンが表示されます。<br>・*USB-DM560、USB-PM560 の場合*<br>パソコンのUSBコネクタにUSBケーブルがに最後まできちんと挿入されていることを確認してください。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | 接続先の電話番号が違っている。 |
| **対処** | プロバイダに接続先の電話番号を確認してください。 |

## （PCML-560EL）[モデム]欄に[I-O DATA PCML-560]と表示されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 設定ファイル[I-O DATA PCML-560]が[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダ内の[Modem Script]にコピーされていない。 |
| 対処 | 別冊【*インストール編*】を参照して、[I-O DATA PCML-560]を[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダ内の[Modem Script]にコピーしてください。 |

## （USB-DM560）[モデム]欄に[I-O DATA USB-DM560]と表示されない

| | |
|---|---|
| 原因 | 設定ファイル[I-O DATA USB-DM560]が[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダ内の[Modem Script]にコピーされていない。 |
| 対処 | 別冊【*インストール編*】を参照して、[I-O DATA USB-DM560]を[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダ内の[Modem Script]にコピーしてください。 |

## （USB-DM560）[ポート]（[経由先]）欄に[USB-DM560] または[USB Modem xx]と表示されない

| | |
|---|---|
| 原因1 | 設定ファイル[USB-DM560]が[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダにコピーされていない。 |
| 対処 | 別冊【*インストール編*】を参照して、[USB-DM560]を[システム]フォルダの[機能拡張]フォルダにコピーしてください。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。 |
| 対処 | 一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。 |

## V.90 または K56flex 対応プロバイダなどとの通信中に回線が切れる

| | |
|---|---|
| 原因 | 電話回線の状況・品質が悪い。 |
| 対処 | 【付録2】(140 ページ)を参照して、接続速度の上限を下げてみてください。電話回線の状況・品質によっては接続速度を下げた方がパフォーマンスが上がる場合もあります。 |

## 50000bps 以上で通信できない

| | |
|---|---|
| 原因1 | 回線状況により、設定回線速度(特に 50000bps 以上)より低い速度で接続する場合があります。 |
| 対処 | 接続プロバイダが V.90 および K56flex に対応しているか確認してください。<br>V.90 および K56flex に対応していない場合は、最高 33600bps となります。 |

| | |
|---|---|
| 原因2 | PBX(構内交換機)の回線を利用している（内線(0 発信)など）場合は、<br>V.90 および K56flex の本来の性能がでません。 |
| 対処 | 電話回線経由でご利用ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因3 | 中継コネクタを使用して、モジュラーケーブルを延長されていると、<br>低い速度で接続する場合があります。 |
| 対処 | モジュラーケーブルをできる限り短くしてご利用ください。 |

| | |
|---|---|
| 原因4 | 分配した回線に接続していると、低い速度で接続する場合があります。 |
| 対処 | 分配していない回線に接続してご利用ください。 |

# その他のトラブル

## 通信ソフトが起動できない

| | |
|---|---|
| 原因 | 通信ソフトの起動方法などが正しくない。 |
| 対処 | インターネットへの接続が正しく動作すれば、通信ソフト側の問題が考えられます。通信ソフトの取扱説明書などをご参照ください。 |

## AT コマンドを使用して通信できない

| | |
|---|---|
| 原因 | AT コマンドに対するリザルトコードにより、エラー障害の切り分けができます。リザルトコードとは、エコーバックと呼ばれる応答信号のことです。 |
| 対処 | リザルトコードの種類によって、以下のように、エラーの回復を試みてください。<br>ATコマンドに関しては、各製品の「サポートソフト」内の¥manualフォルダ内のReadme.txtファイルを参照してください。<br>**※AT コマンドでの操作を行うためには、別途ターミナルソフトをご用意いただく必要があります。(Windows の場合は、147 ページ参照)** |

1. **ERROR**
   ATコマンドに誤りがあります。マニュアルをよく呼んで、パラメータなどをチェックしてください。
2. **NO CARRIER**
   ダイアルコマンドを入力した時このエコーが表示された時は、回線が接続されていないか、こちらの呼び出しに対して接続先が応答信号を返さない状態です。まず、本製品やモジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してみてください。

# 付録2

# 接続速度を変更する

本製品は最初（インストール時）、受信時56000bps(理論値)、送信時33600 bps(理論値)の本製品の最高速度で送受信できるように設定されていますが、電話回線の状況・品質によっては接続速度を下げた方がパフォーマンスが上がる場合もあります。（このような場合、本製品に接続している電話回線の状況・品質が影響していると考えられます。）
ここでは、接続速度の変更方法について説明します。

## 接続速度を変更するATコマンド

Windowsや漢字TalkではATコマンドで接続速度を変更します。
（変更方法については、143ページ以降を参照してください。

### ・PCML-560ELでの接続速度を変更するATコマンド

**・V.90の場合**

AT+MS=12,,,xxxxx
（xxxxx = 28000/29333/30667/32000/33333/34667/36000/
37333/38667/40000/41333/42667/45333/46667/
48000/49333/50667/52000/53333/54667/56000）

**・K56flexの場合**

AT+MS=56,,,xxxxx
（xxxxx = 32000/34000/36000/38000/40000/42000/44000/
46000/48000/50000/52000/54000/56000）

例えば、普段46000～50000bpsでプロバイダと接続されている場合、接続速度上限を44000bpsへ設定します。（普段接続されている速度から、数ランク速度をダウンします。）

AT+MS=,,,44000

## ・USB-DM560での接続速度を変更するATコマンド

ATS38=xx　　（xxには以下の[設定値]を設定します。）

| 設定値 | 接続する回線速度 |
|---|---|
| 0 | 56Kを使用しない |
| 1 | 自動選択 |
| 2 | 32000bps（K56flexで接続する場合）<br>28000bps（V.90で接続する場合） |
| 3 | 34000bps（K56flex で接続する場合）<br>29333bps（V.90で接続する場合） |
| 4 | 36000bps（K56flex で接続する場合）<br>30666bps（V.90 で接続する場合） |
| 5 | 38000bps（K56flex で接続する場合）<br>32000bps（V.90 で接続する場合） |
| 6 | 40000bps（K56flex で接続する場合）<br>33333bps（V.90で接続する場合） |
| 7 | 42000bps（K56flex で接続する場合）<br>34666bps（V.90で接続する場合） |
| 8 | 44000bps（K56flex で接続する場合）<br>36000bps（V.90で接続する場合） |
| 9 | 46000bps（K56flex で接続する場合）<br>37333bps（V.90で接続する場合） |
| 10 | 48000bps（K56flex で接続する場合）<br>38666bps（V.90で接続する場合） |
| 11 | 50000bps（K56flex で接続する場合）<br>40000bps（V.90で接続する場合） |
| 12 | 52000bps（K56flex で接続する場合）<br>41333bps（V.90で接続する場合） |
| 13 | 54000bps（K56flex で接続する場合）<br>42666bps（V.90で接続する場合） |
| 14 | 56000bps（K56flex で接続する場合）<br>44000bps（V.90で接続する場合） |
| 15 | 45333bps（V.90で接続する場合） |
| 16 | 46666bps（V.90で接続する場合） |
| 17 | 48000bps（V.90で接続する場合） |
| 18 | 49333bps（V.90で接続する場合） |
| 19 | 50666bps（V.90で接続する場合） |
| 20 | 52000bps（V.90で接続する場合） |
| 21 | 53333bps（V.90で接続する場合） |
| 22 | 54666bps（V.90で接続する場合） |
| 23 | 56000bps（V.90で接続する場合） |

## ・USB-PM560での接続速度を変更するATコマンド

### ・V.90の場合

AT+MS=90,,,xxxxx

（xxxxx = 28000/29333/30667/32000/33333/34667/36000/
37333/38667/40000/41333/42667/45333/46667/
48000/49333/50667/52000/53333/54667/56000）

例えば、普段46000～50000bpsでプロバイダと接続されている場合、接続速度上限を44000bpsへ設定します。（普段接続されている速度から、数ランク速度をダウンします。）

AT+MS=90,,,44000




**USB-PM560 での K56flex に対応した接続速度を変更する AT コマンドはありません。**

# Windows での接続速度の変更方法

Windowsでは、接続速度は以下および次ページの追加設定で変更します。

## ・Windows 2000 での追加設定

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の
[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

②[電話とモデムのオプション]画面で
[モデム]タブをクリック後、本製品※をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。
※PCML-560EL の場合　→　[I-O DATA PCML560]
USB-DM560 の場合　→　[I-O DATA USB-DM560]
USB-PM560 の場合　→　[I-O DATA USB-PM560]

③[詳細]タブをクリックし、
[追加と初期化コマンド]欄に【接続速度を変更する AT コマンド】(140～142 ページ)のお使いの製品に該当する AT コマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

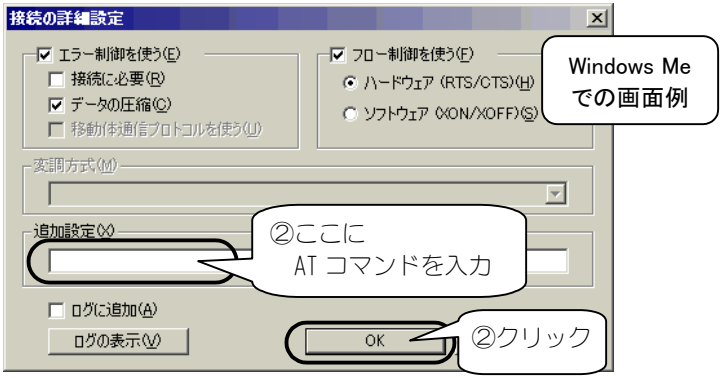


## ・Windows Me/98/95、Windows NT 4.0 での追加設定

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

②[モデムのプロパティ]画面の
[全般]タブで、本製品※をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。
※PCML-560EL の場合 → [I-O DATA PCML560]
USB-DM560 の場合 → [I-O DATA USB-DM560]
USB-PM560 の場合 → [I-O DATA USB-PM560]

③[接続]タブの[詳細設定](または[詳細])ボタンをクリックし、
【接続速度を変更する AT コマンド】(140～142 ページ)のお使いの製品に
該当する AT コマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。



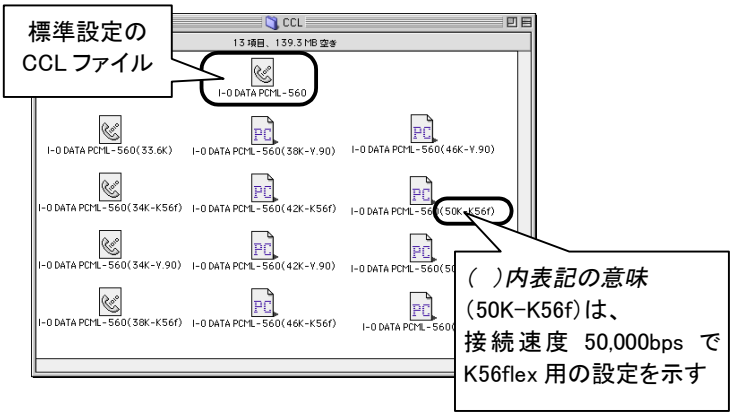
# Macintosh での接続速度の変更方法

Macintoshでは、以下および次ページの手順で変更します。

## ・Mac OS での追加設定

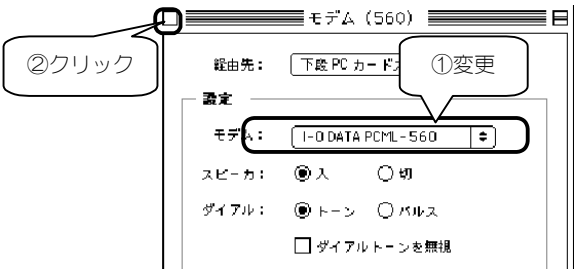
※画面は PCML-560EL での例です。

①サポートソフト内の[CCL]フォルダを開き、接続速度を変更したい CCL ファイルを、[システム]フォルダの中の[機能拡張]フォルダへコピーします。

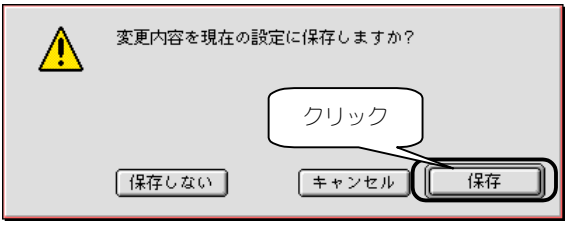



②[アップルメニュー]→[コントロールパネル]→[モデム]をクリックします。

③[モデム]を、①の手順でコピーした CCL ファイルの名称に変更し、クローズボックスをクリックします。



④[保存]ボタンをクリックします。




## ・漢字 Talk での追加設定

次のATコマンドを設定し、接続速度の上限を下げてみてください。

### ・ConfigPPPをお使いの場合

115ページに記載のATコマンド AT&F･･･ の後に、
140～142ページに記載のお使いの製品に該当するATコマンドを追加してみてください。

V.90 での PCML-560EL での入力例）

AT&F&WX1+MS=12,,,46667

K56flex での PCML-560EL での入力例）

AT&F&WX1+MS =56,,,44000

### ・FreePPPをお使いの場合

119ページに記載のATコマンド AT&F･･･ の後に、
140～142ページに記載のお使いの製品に該当するATコマンドを追加してみてください。

V.90 での PCML-560EL での入力例）

AT&F&WX1+MS=12,,,46667

K56flex での PCML-560EL での入力例）

AT&F&WX1+MS =56,,,44000

# 付録3

# ATコマンドによる通信動作の確認(Windowsでの手順)

通信できない、あるいはモデムが正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、例えば、以下の手順のようにWindows標準の「ハイパーターミナル」で通信動作をためすことができます。(以下の画面はWindows Meの例です。)

**1** 「ハイパーターミナル」を起動します。
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ](Windows Me、Windows 98およびWindows 2000の場合は→[通信])→[ハイパーターミナル](Windows NT 4.0では→[ハイパーターミナル])を順にクリックします。

**参考**

**メニュー内に[ハイパーターミナル]が無い場合は、[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]の[Windows ファイル]タブ(Windows NT 4.0では、[Windows NT セットアップ]タブ)から追加してください。**

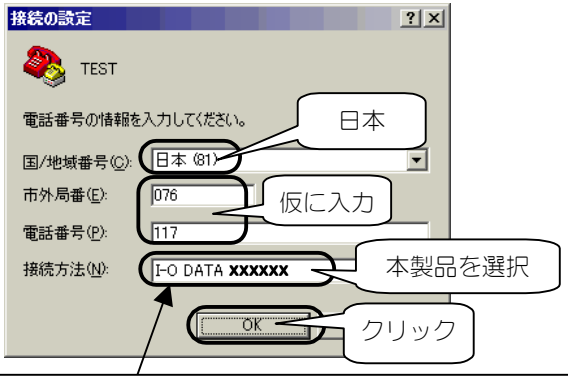
**2** Windows 98/95の場合は、[HyperTerminal]画面が表示されます。
[Hypertrm]アイコンをダブルクリックします。



**3** [名前]に適当な名前(例:TEST)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

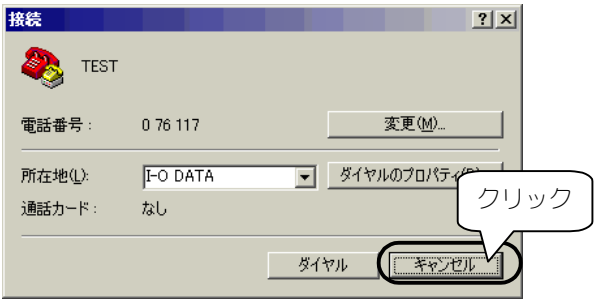



**4** 以下を設定して[OK]ボタンをクリックします。




*ここには以下を選択します。*
- ・PCML-560EL をお使いの場合 →[I-O DATA PCML-560]
- ・USB-DM560 をお使いの場合 →[I-O DATA USB-DM560]
- ・USB-PM560 をお使いの場合 →[I-O DATA USB-PM560]

**5** [キャンセル]ボタンをクリックします。

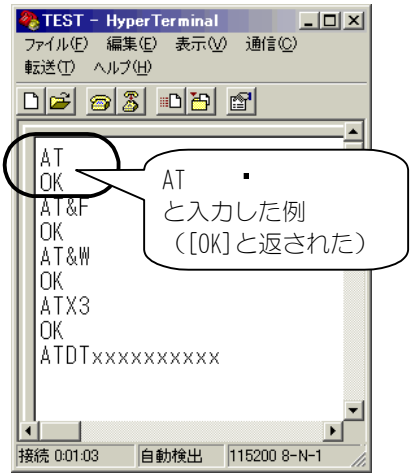


**6**　[ハイパーターミナル]画面が表示されます。

**7**　[ハイパーターミナル]画面内にATコマンドを入力して通信動作を確認することができます。
以下の画面例は、以下の AT コマンドを入力した例です。
**※これらの文字は、半角文字で入力する必要があります。**

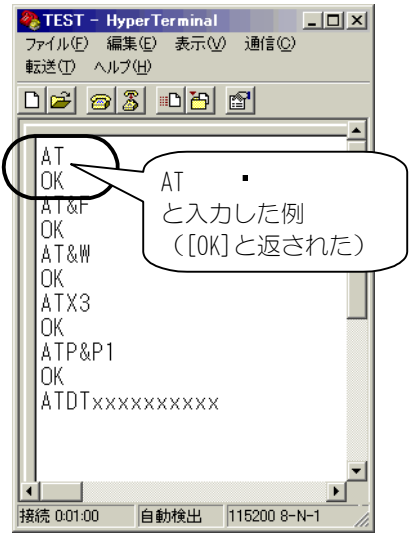
*・プッシュ（トーン）回線でご使用の場合の入力例*

AT ▪
AT&F ▪
AT&W ▪
ATX3 ▪
ATDxxxxxxxxx ▪



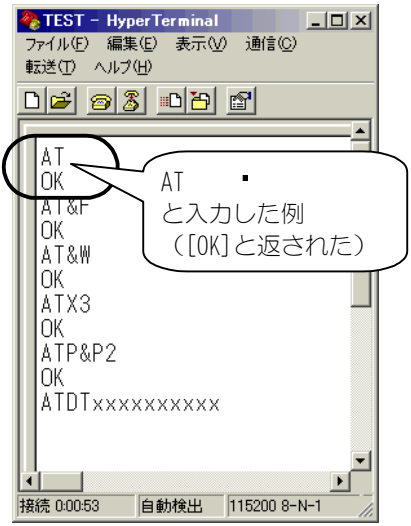
・ダイヤル(パルス)10 回線でご使用の場合の入力例

AT ▪
AT&F ▪
AT&W ▪
ATX3 ▪
ATP&P1 ▪
ATDxxxxxxxxx ▪




・ダイヤル(パルス)20 回線でご使用の場合の入力例

AT ▪
AT&F ▪
AT&W ▪
ATX3 ▪
ATP&P2 ▪
ATDxxxxxxxxx ▪




※「ダイヤル 10 回線」か「ダイヤル 20 回線」かがお分かりにならない場合は、
前ページの「ダイヤル(パルス)10 回線」の方でお試しください。

***8*** 以上の手順が発信が可能であれば、**7**の手順にて実行した AT コマンドを以下の個所を参照し、モデムのプロパティに追加設定して、ご利用をお試しください。

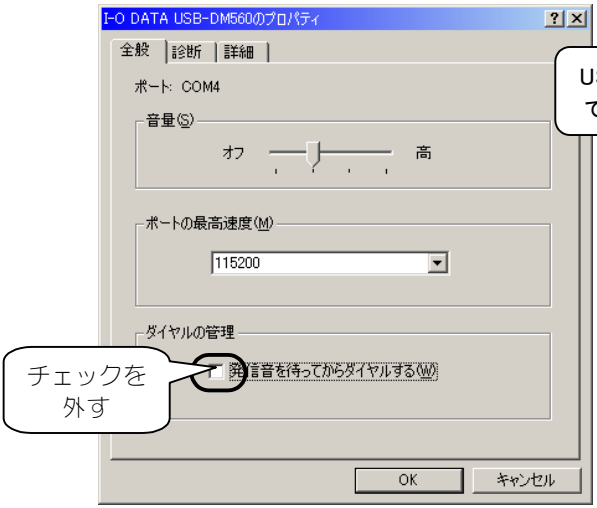
・*Windows 2000 での追加設定* → 以下参照
・*Windows Me/98/95、Windows NT 4.0 での追加設定*
→ 153 ページ参照

## ・*Windows 2000 での追加設定*

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の
[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

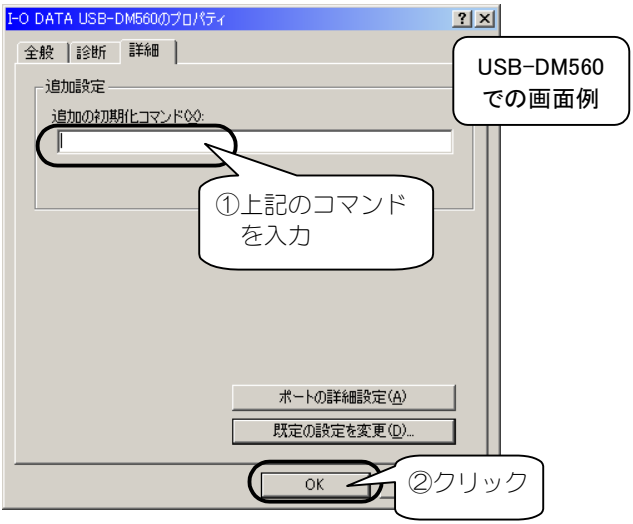
②[電話とモデムのオプション]画面で
[モデム]タブをクリック後、本製品※をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。
※PCML-560EL の場合 → [I-O DATA PCML560]
USB-DM560 の場合 → [I-O DATA USB-DM560]
USB-PM560 の場合 → [I-O DATA USB-PM560]

③[全般]タブで[発信音を待ってからダイヤルする]のチェックを外します。



④[詳細]タブをクリックし、
[追加と初期化コマンド]欄に以下を追加し、[OK]ボタンをクリックしてください。

| 使用回線 | 追加するコマンド<br>(すべて半角で入力) |
|---|---|
| プッシュ回線の場合 | AT&F&WX3 |
| ダイヤル 10 回線の場合 | AT&F&WX3&P1 |
| ダイヤル 20 回線の場合 | AT&F&WX3&P2 |




以上の追加設定を行い、発信、接続ができるかをお試しください。

もし、上記の設定でもうまく発信されない場合は、本製品を使用する回線について以下をご確認ください。

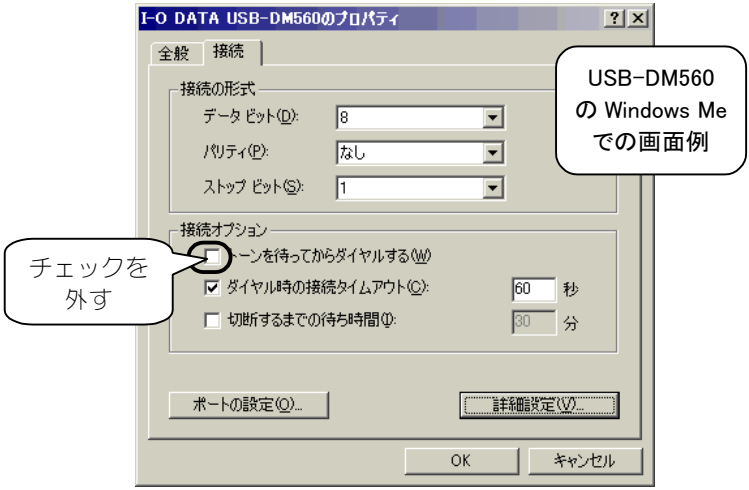
1つの回線を分岐して、分岐したモジュラーケーブルを本製品に接続しているようであれば、分岐をしないで本製品に接続してみてください。
(分岐をしない状態にできないようであれば、なるべく電話回線の元に近い方のモジュラージャックに本製品を取り付けてみてください。)

## ・Windows Me/98/95、Windows NT 4.0 での追加設定

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

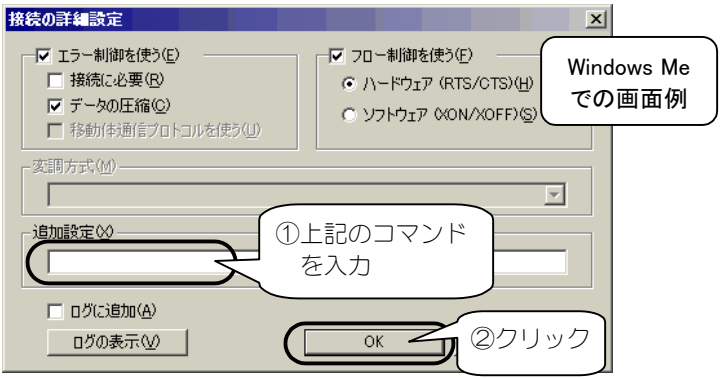
②[モデムのプロパティ]画面の
[全般]タブで、本製品※をクリックし、
[プロパティ]ボタンをクリックします。
※PCML-560EL の場合 → [I-O DATA PCML560]
USB-DM560 の場合 → [I-O DATA USB-DM560]
USB-PM560 の場合 → [I-O DATA USB-PM560]

③[接続]タブで[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックを外します。



④[接続]タブの[詳細設定](または[詳細])ボタンをクリックし、
[追加設定]欄に以下を追加し、[OK]ボタンをクリックしてください。

| 使用回線 | 追加するコマンド<br>(すべて半角で入力) |
|---|---|
| プッシュ回線の場合 | AT&F&WX3 |
| ダイヤル 10 回線の場合 | AT&F&WX3&P1 |
| ダイヤル 20 回線の場合 | AT&F&WX3&P2 |




以上の追加設定を行い、発信、接続ができるかをお試しください。

もし、上記の設定でもうまく発信されない場合は、本製品を使用する回線について以下をご確認ください。

1つの回線を分岐して、分岐したモジュラーケーブルを本製品に接続しているようであれば、分岐をしないで本製品に接続してみてください。
(分岐をしない状態にできないようであれば、なるべく電話回線の元に近い方のモジュラージャックに本製品を取り付けてみてください。)